

| | | | | | | | |
|------------------------|---|----------------------|--------------|--------------------------|------------------------|------------------|-----|
| 科目名 | 人間文化演習〔人間文化分野〕 | | | | 科目コード | 8011 | |
| 英文名 | Graduation Research Seminar I〔Psychology〕 | | | | 科目区分 | 【卒業研究】 (必修科目) | |
| 担当教員 | 原島 雅之／佐久間 直人 | | 教員コード | 142/148 | | 単位数 | 2単位 |
| 開講期間 | 通年 | | 曜日・時限 | 金曜日・3時限 | | 授業形態 | 演習 |
| 学位授与方針との対応 | <input type="checkbox"/> | 1.大学生としての幅広い教養を身につける | | <input type="checkbox"/> | 2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する | | |
| | <input type="checkbox"/> | 3.論理的・批判的なものの見方を養う | | <input type="checkbox"/> | 4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する | | |
| | <input checked="" type="checkbox"/> | 5.学習の過程で発見した課題を探究する | | <input type="checkbox"/> | 6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う | | |
| 授業概要 | 心理学研究における研究方法・研究結果についていくつか紹介する。それをもとに各自の興味関心のある研究テーマについて議論する。また、卒業研究の準備として、論文の読み方や書き方についての練習を行う。 | | | | | | |
| 授業の狙い・到達目標 | 心理学の研究について、課題の発見や研究方法、結果のまとめ方などを理解するとともに、文献の読み方や論文の書き方の修得を目指す。 | | | | | | |
| 授業内容のレベル・関連科目 | これまでの心理学関連の講義科目とは異なり、ゼミ形式の授業として発表や積極的な議論の参加を求める。心理学実験実習や心理学研究法、また自身の関心のある心理学分野の各科目について履修済みもしくは合わせての履修が望ましい。 | | | | | | |
| 授業外学習(予習・復習) | 関心のある日常の心理的現象について自分なりにまとめておくこと。また、毎回の授業内容については自分なりに振り返り、要約をすることともに、課題の提出に備えること。 | | | 授業外学習に必要な時間 | 各回4時間、合計120時間 | | |
| 使用教科書 | 木下是雄『理科系の作文技術』中公新書 | | | | | | |
| 参考書・その他教材 | 授業の際に適宜紹介あるいは配布を行う。 | | | | | | |
| 課題に対するフィードバック | 提出された課題やレポートについては授業の際に適宜フィードバックを行う。 | | | | | | |
| 成績評価方法 | 授業態度(20%)、課題およびレポート(80%)で総合的に評価する。 | | | | | | |
| 成績評価基準 | 学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。 | | | | | | |
| 履修上の注意事項や学習上の助言 | 原則として毎回出席し、積極的に議論に参加すること。 | | | | | | |
| 科目に関連した教員の実務経験 | 特になし | | | | | | |
| 担当教員への連絡方法 | 原島の連絡先: harasima@aikoku-u.org 佐久間の連絡先: sakuma@aikoku-u.org | | | | | | |

授業スケジュール

人間文化演習〔人間文化分野〕

| | | |
|------------|-------------|---------------------------------------|
| 1回 | 学習内容 | ガイダンスー演習の内容や進め方について |
| | 予習 | シラバスを熟読し、授業の概要についておおむね理解しておくこと |
| | 復習 | 授業の目的・内容、授業の進め方などについて振り返り、理解を深めること |
| 2回 | 学習内容 | 心理学研究への導入ー心理学研究の範囲や特徴 |
| | 予習 | これまでに受けた心理学の授業内容について自分なりに振り返りをしておくこと |
| | 復習 | 配布資料などをもとに授業内容について自分なりに整理すること |
| 3回 | 学習内容 | 心理学研究の紹介①ー知覚心理学の研究テーマ・方法・結果について紹介する |
| | 予習 | これまでに受けた心理学の授業内容について自分なりに振り返りをしておくこと |
| | 復習 | 配布資料などをもとに授業内容について自分なりに整理すること |
| 4回 | 学習内容 | 心理学研究の紹介②ー認知心理学の研究テーマ・方法・結果について紹介する |
| | 予習 | これまでに受けた心理学の授業内容について自分なりに振り返りをしておくこと |
| | 復習 | 配布資料などをもとに授業内容について自分なりに整理すること |
| 5回 | 学習内容 | 心理学研究の紹介③ー社会心理学の研究テーマ・方法・結果について紹介する |
| | 予習 | これまでに受けた心理学の授業内容について自分なりに振り返りをしておくこと |
| | 復習 | 配布資料などをもとに授業内容について自分なりに整理すること |
| 6回 | 学習内容 | 心理学研究の紹介④ー性格心理学の研究テーマ・方法・結果について紹介する |
| | 予習 | これまでに受けた心理学の授業内容について自分なりに振り返りをしておくこと |
| | 復習 | 配布資料などをもとに授業内容について自分なりに整理すること |
| 7回 | 学習内容 | 研究テーマディスカッションー心理学的研究のテーマについて自由に議論する |
| 8回 | 予習 | 自分が関心のある心理学的研究のテーマについて考えておくこと |
| 9回 | 復習 | 授業で行った議論をもとにあらためて研究テーマについて考えをまとめておくこと |
| 10回 | | |
| 11回 | 学習内容 | 研究の基本的技能①ー文献検索の意義、具体的方法 |
| | 予習 | 自分の興味のあるテーマやトピックについてまとめておくこと |
| | 復習 | 自分の興味のあるテーマやトピックに関する文献を検索すること |
| 12回 | 学習内容 | 研究の基本的技能②ー文献の読み方(専門書、論文、報告書) |
| | 予習 | 自分の興味のあるテーマやトピックについてまとめておくこと |
| | 復習 | 自分の興味のあるテーマやトピックに関する文献を読むこと |
| 13回 | 学習内容 | 研究の基本的技能③ー読書メモの作成法 |
| | 予習 | 自分の興味のあるテーマやトピックについてまとめておくこと |
| | 復習 | これまでに読んだ文献について読書メモを作成すること |
| 14回 | 学習内容 | 研究の基本的技能④ーレジュメの作成法 |
| | 予習 | 自分の興味のあるテーマやトピックについてまとめておくこと |
| | 復習 | これまでに読んだ文献についてレジュメを作成すること |
| 15回 | 学習内容 | 研究技能訓練のための課題ー出題内容と取り組み方法の説明と実施 |
| | 予習 | 自分の興味のあるテーマやトピックについてまとめておくこと |
| | 復習 | 指示された課題について取り組み提出すること |

授業スケジュール

人間文化演習〔人間文化分野〕

| | | |
|--|---------------------------------------|--|
| 16 回 | 学習内容 予習 復習 | テキストの輪読①－文書作成の準備 テキストの該当部分に目を通しておくこと テキストの該当部分をあらためて読み直し、整理しておくこと |
| 17 回 | 学習内容 予習 復習 | テキストの輪読②－文章の組み立て、パラグラフ テキストの該当部分に目を通しておくこと テキストの該当部分をあらためて読み直し、整理しておくこと |
| 18 回 | 学習内容 予習 復習 | テキストの輪読③－明確な文章、「事実」と「意見」の違い テキストの該当部分に目を通しておくこと テキストの該当部分をあらためて読み直し、整理しておくこと |
| 19 回 | 学習内容 予習 復習 | テキストの輪読④－わかりやすく簡潔な表現 テキストの該当部分に目を通しておくこと テキストの該当部分をあらためて読み直し、整理しておくこと |
| 20 回 | 学習内容 予習 復習 | テキストの輪読⑤－わかりやすい発表の仕方 テキストの該当部分に目を通しておくこと テキストの該当部分をあらためて読み直し、整理しておくこと |
| 21 ・ 22 ・ 23 回 | 学習内容 予習 復習 | 論理的思考の訓練－課題形式で思考力の訓練を行う 配布資料に目を通して発表の準備をしておくこと 自分や他の人の発表内容をふまえて、次の課題に備えること |
| 24 ・ 25 回 | 学習内容 予習 復習 | 説明の練習－日常の心理学的現象を論理的に説明する練習を行う 日常の心理学的現象について集めておくこと 授業で扱ったもの以外の心理学的現象について論理的な説明を考えること |
| 26 ・ 27 ・ 28 ・ 29 回 | 学習内容 予習 復習 | 心理学文献の輪読－卒業研究に関連するテーマの文献を読み、レジュメにまとめ、発表する 関心のあるトピックに関連した心理学的研究を扱った論文を見つけておくこと 自分の発表に備えてレジュメを作成すること |
| 30 回 | 学習内容 予習 復習 | まとめ－卒業研究への導入 これまでの学習内容を自分なりに整理しておくこと 卒業研究のテーマについて考えておくこと |

| | | | | | | |
|-----------------|---|----------------------|---------|------------------------|------------------|-----|
| 科目名 | 人間文化演習〔人間文化分野〕 | | | 科目コード | 8011 | |
| 英文名 | Graduation Research Seminar I 〔Linguistics and Cultural Anthropology〕 | | | 科目区分 | 【卒業研究】 (必修科目) | |
| 担当教員 | 部田和美/清水聖子/山崎寿美子/ 羽田利久 | | 教員コード | 153/132/147/ 155 | 単位数 | 2単位 |
| 開講期間 | 通年 | 曜日・時限 | 月曜日・3時限 | 授業形態 | 演習 | |
| 学位授与方針との対応 | ◎ | 1.大学生としての幅広い教養を身につける | ◎ | 2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する | | |
| | ◎ | 3.論理的・批判的なものの見方を養う | ◎ | 4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する | | |
| | ◎ | 5.学習の過程で発見した課題を探究する | ◎ | 6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う | | |
| 授業概要 | 人間文化分野の教員がそれぞれの専門分野に関連した講義を行う。 | | | | | |
| 授業の狙い・到達目標 | 前期は、異なる専門を持つ教員の講義を受けることで、自身の興味と卒業論文で扱いたい分野をよく見極める。後期は指導教員別に、専門知識をさらに深め、卒業論文作成のための準備をする。 | | | | | |
| 授業内容のレベル・関連科目 | 日本語学概論Ⅰ・Ⅱ、異文化理解、東洋文化論Ⅰ・Ⅱ、文化人類学概論 | | | | | |
| 授業外学習(予習・復習) | 各担当教員が予復習に関する課題を毎回提出するので、それに従う | | | 授業外学習に必要な時間 | 各回4時間、合計120時間 | |
| 使用教科書 | 教員の用意した資料を使う | | | | | |
| 参考書・その他教材 | テーマに合わせて随時参考文献を指示する。 | | | | | |
| 課題に対するフィードバック | 前期は各教員の最後の講義でまとめを行う。 | | | | | |
| 成績評価方法 | 授業態度と課題の提出率等で評価する(教員によっては簡単な試験も行う) | | | | | |
| 成績評価基準 | 試験:講義内容の理解度 課題:内容と提出率 | | | | | |
| 履修上の注意事項や学習上の助言 | 文化人類学(山崎担当)については英語の文献も読むので、英語の読解力も必要とする。 | | | | | |
| 科目に関連した教員の実務経験 | 特になし | | | | | |
| 担当教員への連絡方法 | 部田) torita@aikoku-u.ac.jp、清水) su@aikoku-u.ac.jp、山崎) yamazaki@aikoku-u.org | | | | | |

授業スケジュール

人間文化演習〔人間文化分野〕

| | | |
|-----|------------------|--|
| 1回 | 学習内容 予習 復習 | ガイダンス・教員紹介 シラバスを確認しておく 特になし |
| 2回 | 学習内容 予習 復習 | 日本語学1(部田) 日本語学とは何か 留学生は日本語文法の基礎知識を確認しておく 講義内容に関する課題を与える |
| 3回 | 学習内容 予習 復習 | 日本語学2(部田) 日本語文法研究 日本語文法について興味のあることを各自用意する 講義内容に関する課題を与える |
| 4回 | 学習内容 予習 復習 | 日本語学3(部田) 対照研究 留学生は母語と日本語の違いについて、日本人学生は他言語と日本語の違いについて考えておく 講義内容に関する課題を与える |
| 5回 | 学習内容 予習 復習 | 日本語教育研究(清水) 配布資料を読んでくこと 授業内容を振り返り、内容をまとめること |
| 6回 | 学習内容 予習 復習 | 第二言語習得研究(清水) 配布資料を読んでくこと 授業内容を振り返り、内容をまとめること |
| 7回 | 学習内容 予習 復習 | バイリンガル研究(清水) 配布資料を読んでくこと 授業内容を振り返り、内容をまとめること |
| 8回 | 学習内容 予習 復習 | 文化人類学1(山崎) 東南アジアの文化研究について アジアの文化について関心をもち調べておくこと。 授業の内容について振り返り、レポートを提出すること。 |
| 9回 | 学習内容 予習 復習 | 文化人類学2(山崎) 東南アジアの民族誌を読む 事前に資料を配布するので、おおまかに目を通しておくこと。 授業の内容について振り返り、レポートを提出すること。 |
| 10回 | 学習内容 予習 復習 | 文化人類学3(山崎) 東南アジアの民族誌(英語)を読む 事前に資料を配布するので、おおまかに目を通しておくこと。 授業の内容について振り返り、レポートを提出すること。 |
| 11回 | 学習内容 予習 復習 | 観光学1(羽田) 観光学の観点から考えられる事象について 身の回りの生活と観光との関わりについて考え、調べておくこと。 授業内容について、配布したレジュメを元にまとめをおこない、理解を深めること。 |
| 12回 | 学習内容 予習 復習 | 観光学2(羽田) 観光と文化 事前の配布資料を読み、内容を理解してくこと 授業内容について、配布したレジュメを元にまとめをおこない、理解を深めること。 |
| 13回 | 学習内容 予習 復習 | 観光学3(羽田) 観光マーケティング 事前の配布資料を読み、内容を理解してくこと 授業内容について、配布したレジュメを元にまとめをおこない、理解を深めること。 |
| 14回 | 学習内容 予習 復習 | 授業進度の調整日 特になし 特になし |
| 15回 | 学習内容 予習 復習 | 前期まとめ 卒業論文のテーマとして関心のあるものを決めておく 各自担当教員から |

授業スケジュール

人間文化演習〔人間文化分野〕

| | | |
|---------|---------------------------------------|---|
| 16 回 | 学習内容 予習 復習 | 専門分野に関する基礎知識の習得 各指導教員から休暇前に指示があるのでそれに従う 各指導教員から講義内容に関する課題が出されるのでそれに従う |
| 17 回 | 学習内容 予習 復習 | 専門分野に関する基礎知識の習得 各指導教員からの指示に従う 各指導教員から講義内容に関する課題が出されるのでそれに従う |
| 18 回 | 学習内容 予習 復習 | 専門分野に関する基礎知識の習得 各指導教員からの指示に従う 各指導教員から講義内容に関する課題が出されるのでそれに従う |
| 19 回 | 学習内容 予習 復習 | 専門分野に関する基礎知識の習得 各指導教員からの指示に従う 各指導教員から講義内容に関する課題が出されるのでそれに従う |
| 20 回 | 学習内容 予習 復習 | 専門分野に関する基礎知識の習得 各指導教員からの指示に従う 各指導教員から講義内容に関する課題が出されるのでそれに従う |
| 21 回 | 学習内容 予習 復習 | 専門分野に関する論文精読 各指導教員からの指示に従う 各指導教員から講義内容に関する課題が出されるのでそれに従う |
| 22 回 | 学習内容 予習 復習 | 専門分野に関する論文精読 各指導教員からの指示に従う 各指導教員から講義内容に関する課題が出されるのでそれに従う |
| 23 回 | 学習内容 予習 復習 | 専門分野に関する論文精読 各指導教員からの指示に従う 各指導教員から講義内容に関する課題が出されるのでそれに従う |
| 24 回 | 学習内容 予習 復習 | 専門分野に関する論文精読 各指導教員からの指示に従う 各指導教員から講義内容に関する課題が出されるのでそれに従う |
| 25 回 | 学習内容 予習 復習 | 専門分野に関する論文精読 各指導教員からの指示に従う 各指導教員から講義内容に関する課題が出されるのでそれに従う |
| 26 回 | 学習内容 予習 復習 | 専門分野に関する論文精読 各指導教員からの指示に従う 各指導教員から講義内容に関する課題が出されるのでそれに従う |
| 27 回 | 学習内容 予習 復習 | 論文作成に必要な専門知識の習得 各指導教員からの指示に従う 各指導教員から講義内容に関する課題が出されるのでそれに従う |
| 28 回 | 学習内容 予習 復習 | 論文作成に必要な専門知識の習得 各指導教員からの指示に従う 各指導教員から講義内容に関する課題が出されるのでそれに従う |
| 29 回 | 学習内容 予習 復習 | 論文作成に必要な専門知識の習得 各指導教員からの指示に従う 各指導教員から講義内容に関する課題が出されるのでそれに従う |
| 30 回 | 学習内容 予習 復習 | 論文執筆に必要な専門知識の習得 各指導教員からの指示に従う 各指導教員から講義内容に関する課題が出されるのでそれに従う |

| | | | | | | |
|------------------------|---|----------------------|--------------|------------------------|---------------|-------------------|
| 科目名 | 人間文化演習(生活科学分野) | | | 科目コード | 8012 | |
| 英文名 | Graduation Research Seminar I (Life Science) | | | 科目区分 | 【卒業研究】(必修科目) | |
| 担当教員 | 市川 遥夏 | | 教員コード | 134 | | 単位数 2単位 |
| 開講期間 | 通年 | 曜日・時限 | 水曜日・3時限 | | 授業形態 | 演習 |
| 学位授与方針との対応 | ◎ | 1.大学生としての幅広い教養を身につける | ◎ | 2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する | | |
| | ○ | 3.論理的・批判的なものの見方を養う | ◎ | 4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する | | |
| | ◎ | 5.学習の過程で発見した課題を探求する | ◎ | 6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う | | |
| 授業概要 | 前期は、生活科学の最近の進歩を概観し、専門的な事項について考究し、卒業研究への準備を行う。そのために、論文執筆のための基本について演習形式で勉強する。後期は、担当教員の専門的なゼミとして、いっそうの具体的なテーマについて研鑽に励むこととする。 | | | | | |
| 授業の狙い・到達目標 | 目標を達成することにより、課題について調査し、評価する力を養うとともに、研究計画を立案する力やプレゼンテーション能力を身に付ける。 | | | | | |
| 授業内容のレベル・関連科目 | 問題発見能力や問題解決能力、及びプレゼンテーション・ディスカッション能力を身につける。 | | | | | |
| 授業外学習(予習・復習) | 各回ゼミの内容に応じ、予習として文献を探し、内容について十分に検討を行う。ゼミ後、検討した内容を自主的に整理し、理解を深めたのちにプレゼンテーションを作成する。 | | | 授業外学習に必要な時間 | 各回4時間、合計120時間 | |
| 使用教科書 | 随時紹介する。 | | | | | |
| 参考書・その他教材 | 随時紹介する。 | | | | | |
| 課題に対するフィードバック | 随時フィードバックを行う。 | | | | | |
| 成績評価方法 | 研究態度50%、課題に取り組む意欲、プレゼンテーション50%を総合的に評価する。 | | | | | |
| 成績評価基準 | 学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。 | | | | | |
| 履修上の注意事項や学習上の助言 | 積極的にゼミに参加し、わからないことがあれば直ちに質問すること。 | | | | | |
| 科目に関連した教員の実務経験 | 特になし。 | | | | | |
| 担当教員への連絡方法 | オフィスアワー:木曜日昼休み(研究室:2号館2階4号室) 質問はメールでも受け付ける(ichikawa@aikoku-u.org) | | | | | |

授業スケジュール

人間文化演習(生活科学分野)

| | | |
|----------------|---------------------------------------|--|
| 1回 | 学習内容 予習 復習 | ガイダンス、卒業研究を説明する。 シラバスを熟読し、授業の概要についておおむね理解しておくこと。 授業の目的・内容、授業の進め方などについて振り返り、理解を深めること。 |
| 2・3・4回 | 学習内容 予習 復習 | 研究分野(食品・栄養学に関する研究)を紹介する。 教員からの指示をよく確認して予習に取り組むこと。 ゼミ内容を自主的にまとめ、理解を深めること。 |
| 5・6・7回 | 学習内容 予習 復習 | 研究分野(アロマセラピーに関する研究)を紹介する。 教員からの指示をよく確認して予習に取り組むこと。 ゼミ内容を自主的にまとめ、理解を深めること。 |
| 8・9・10回 | 学習内容 予習 復習 | 研究分野(化粧品に関する研究)を紹介する。 教員からの指示をよく確認して予習に取り組むこと。 ゼミ内容を自主的にまとめ、理解を深めること。 |
| 11回 | 学習内容 予習 復習 | 研究の手法(文献調査、購読の仕方)を説明する。 教員からの指示をよく確認して予習に取り組むこと。 ゼミ内容を自主的にまとめ、理解を深めること。 |
| 12回 | 学習内容 予習 復習 | 研究の手法(データ収集、分析、整理の方法)を説明する。 教員からの指示をよく確認して予習に取り組むこと。 ゼミ内容を自主的にまとめ、理解を深めること。 |
| 13回 | 学習内容 予習 復習 | 研究の手法(論文、レポートの書き方)を説明する。 教員からの指示をよく確認して予習に取り組むこと。 ゼミ内容を自主的にまとめ、理解を深めること。 |
| 14回 | 学習内容 予習 復習 | 研究の手法(課題発表の仕方)を説明する。 教員からの指示をよく確認して予習に取り組むこと。 ゼミ内容を自主的にまとめ、理解を深めること。 |
| 15回 | 学習内容 予習 復習 | 全体のまとめ、発表を行う。 今までの授業内容について見直し、発表を準備すること。 ゼミ内容を自主的にまとめ、理解を深めること。 |

授業スケジュール

人間文化演習〔生活科学分野〕

| | | |
|--|---------------------------------------|--|
| 16 回 | 学習内容 予習 復習 | ガイダンス、授業の目的と内容、授業の進め方などについて学ぶ。 シラバスを熟読し、授業の概要についておおむね理解しておくこと。 授業の目的・内容、授業の進め方などについて振り返り、理解を深めること。 |
| 17 ・ 18 回 | 学習内容 予習 復習 | 各自の興味ある課題について調査を行い、テーマを選ぶ。 興味のあるテーマに関する文献を調査すること。 ゼミ後、検討した内容を自主的に整理し、理解を深めること。 |
| 19 ・ 20 ・ 21 ・ 22 回 | 学習内容 予習 復習 | 文献を購読する。研究課題に関する国内外の研究成果を調査し、読解を行う。 選んだテーマに関する文献を調査し、一読すること。 ゼミ後、検討した内容を自主的に整理し、理解を深めること。 |
| 23 回 | 学習内容 予習 復習 | 中間報告を行う。 中間報告の準備をすること。 フィードバックで指導された内容を整理し、改善を行うこと。 |
| 24 ・ 25 ・ 26 ・ 27 回 | 学習内容 予習 復習 | 文献を購読する。中間報告に基づき研究課題に関する国内外の研究成果を調査し、読解を行う。 選んだテーマに関する文献を調査し、一読すること。 ゼミ後、検討した内容を自主的に整理し、理解を深めること。 |
| 28 ・ 29 回 | 学習内容 予習 復習 | 卒論の対策、課題達成のために解決すべき問題点を抽出し、研究計画を立案する。 研究計画を立てること。立てた研究計画を見直すこと。 ゼミ後、フィードバックで指導された内容を整理し、改善を行うこと。 |
| 30 回 | 学習内容 予習 復習 | 全体のまとめ。発表を行う。 今までの授業内容について見直し、発表を準備すること。 ゼミ後、フィードバックで指導された内容を整理し、改善を行うこと。 |

| | | | | | | | |
|-----------------|---|----------------------|---------|-----------------------|------------------------|------------------|-----|
| 科目名 | 人間文化演習〔環境福祉分野〕 | | | | 科目コード | 8013 | |
| 英文名 | Graduation Research Seminar I 〔Environmental Study and Social Welfare〕 | | | | 科目区分 | 【卒業研究】 (必修科目) | |
| 担当教員 | 太田和良幸/中村壘/赤羽根和恵 | | 教員コード | 154/138/152 | | 単位数 | 2単位 |
| 開講期間 | 通年 | 曜日・時限 | 火曜日・5時限 | | 授業形態 | 演習 | |
| 学位授与方針との対応 | <input type="radio"/> | 1.大学生としての幅広い教養を身につける | | <input type="radio"/> | 2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する | | |
| | <input checked="" type="radio"/> | 3.論理的・批判的なものの見方を養う | | <input type="radio"/> | 4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する | | |
| | <input checked="" type="radio"/> | 5.学習の過程で発見した課題を探求する | | <input type="radio"/> | 6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う | | |
| 授業概要 | 前期は、環境、福祉、経済の各分野について、基礎的な見方、文献・データの読み方、調査の方法、レポートの書き方、課題の発表の仕方を学ぶ。後期は、各自が次年度の卒業論文執筆を意識し、関心を持つ課題について教員や他の学生と討論をしながら理解を深める。 | | | | | | |
| 授業の狙い・到達目標 | 環境福祉分野で論文を書く力を身に付ける。 | | | | | | |
| 授業内容のレベル・関連科目 | 関連科目：「環境学入門」、「環境行政と福祉行政Ⅰ・Ⅱ」、「環境法と福祉法Ⅰ・Ⅱ」、「生活福祉論」、「社会福祉論」、「社会保障論」、「現代経済入門」 | | | | | | |
| 授業外学習(予習・復習) | 毎回、授業計画や教員からの指示をよく確認して予習に取り組みむこと また、毎回授業内容について振り返り、復習を行うこと | | | 授業外学習に必要な時間 | 各回4時間、 合計120時間 | | |
| 使用教科書 | 環境省「令和2年版環境白書」(出版物でもWeb上で見ることができるものでも可) | | | | | | |
| 参考書・その他教材 | 講義中に紹介する。 | | | | | | |
| 課題に対するフィードバック | 作成したレジュメについて、討論の中でコメントをする。 | | | | | | |
| 成績評価方法 | 平常点(50%)と報告・内容(50%)で評価する。 | | | | | | |
| 成績評価基準 | 学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。 | | | | | | |
| 履修上の注意事項や学習上の助言 | 積極的にゼミに参加し、わからないことがあれば質問すること。 | | | | | | |
| 科目に関連した教員の実務経験 | 特になし。 | | | | | | |
| 担当教員への連絡方法 | 太田和・連絡先: ohtawa@aikoku-u.org 中村・連絡先: nakamura@aikoku-u.org 赤羽根・連絡先: akabane@aikoku-u.org | | | | | | |

授業スケジュール

人間文化演習〔環境福祉分野〕

| | | |
|-----|------------------|---|
| 1回 | 学習内容 予習 復習 | ガイダンス及び環境学分野の紹介 シラバスを熟読して、本授業の概要、授業方法などを理解しておくこと 授業の概要、授業方法などについて振り返りを行うこと |
| 2回 | 学習内容 予習 復習 | 環境問題に関する統計データについて学ぶ。 環境白書の中に記載されている環境問題に関する各種統計データを調べておくこと 授業について振り返りを行い、レポートにまとめて提出すること |
| 3回 | 学習内容 予習 復習 | 環境問題に関する文献について学ぶ。 環境問題に関する代表的文献(出版物)を調べておくこと 授業について振り返りを行い、レポートにまとめて提出すること |
| 4回 | 学習内容 予習 復習 | 環境問題に関する調査の方法及びレポートの書き方について学ぶ 自ら調査するとしたらどのような内容・方法の調査ができるか考えてくること 授業について振り返りを行い、レポートにまとめて提出すること |
| 5回 | 学習内容 予習 復習 | 環境問題に関する課題の選定方法などについて学ぶ。 環境問題を卒論でとり上げるとしたら、どのようなものにしたいか考えてくること 授業について振り返りを行い、レポートにまとめて提出すること |
| 6回 | 学習内容 予習 復習 | 社会福祉分野の紹介 社会福祉論、生活福祉論等の授業で学んだことを整理しておくこと 授業について振り返りを行うこと |
| 7回 | 学習内容 予習 復習 | 福祉に関する統計データについて学ぶ 事前に配布するレジュメを読んでおくこと 授業について振り返りを行い、レポートにまとめて提出すること |
| 8回 | 学習内容 予習 復習 | 福祉に関する文献について学ぶ 興味のある福祉の分野に関する文献(出版物)を調べておくこと 授業について振り返りを行い、レポートにまとめて提出すること |
| 9回 | 学習内容 予習 復習 | 福祉に関する調査の方法及びレポートの書き方について学ぶ 自ら調査するとしたらどのような内容・方法の調査ができるか考えてくること 授業について振り返りを行い、レポートにまとめて提出すること |
| 10回 | 学習内容 予習 復習 | 福祉に関する課題の選定方法などについて学ぶ 福祉を卒論でとり上げるとしたら、どのようなものにしたいか考えてくること 授業について振り返りを行い、レポートにまとめて提出すること |
| 11回 | 学習内容 予習 復習 | 経済学分野の紹介 社会経済に関係する授業で学んだことを整理しておくこと 授業について振り返りを行うこと |
| 12回 | 学習内容 予習 復習 | 経済に関する統計データについて学ぶ。 事前に配布するレジュメを読んでおくこと 授業について振り返りを行い、レポートにまとめて提出すること |
| 13回 | 学習内容 予習 復習 | 経済に関する文献について学ぶ。 経済に関する代表的文献(出版物)を調べておくこと 授業について振り返りを行い、レポートにまとめて提出すること |
| 14回 | 学習内容 予習 復習 | 経済に関する調査の方法及びレポートの書き方について学ぶ 自ら調査するとしたらどのような内容・方法の調査ができるか考えてくること 授業について振り返りを行い、レポートにまとめて提出すること |
| 15回 | 学習内容 予習 復習 | 経済に関する課題の選定方法などについて学ぶ。 経済を卒論でとり上げるとしたら、どのようなものにしたいか考えてくること 授業について振り返りを行い、レポートにまとめて提出すること |

授業スケジュール

人間文化演習〔環境福祉分野〕

| | | |
|---------|---------------------------------------|---|
| 16 回 | 学習内容 予習 復習 | ガイダンス 前期に学んだことを確認すること 授業の概要、授業方法などについて振り返りを行うこと |
| 17 回 | 学習内容 予習 復習 | 文献購読Ⅰ 指定された箇所を読み、担当者はレジュメを作成すること 討論を振り返り、課題を整理すること |
| 18 回 | 学習内容 予習 復習 | 文献購読Ⅱ 指定された箇所を読み、担当者はレジュメを作成すること 討論を振り返り、課題を整理すること |
| 19 回 | 学習内容 予習 復習 | 文献購読Ⅲ 指定された箇所を読み、担当者はレジュメを作成すること 討論を振り返り、課題を整理すること |
| 20 回 | 学習内容 予習 復習 | 文献購読Ⅳ 指定された箇所を読み、担当者はレジュメを作成すること 討論を振り返り、課題を整理すること |
| 21 回 | 学習内容 予習 復習 | 文献購読Ⅴ 指定された箇所を読み、担当者はレジュメを作成すること 討論を振り返り、課題を整理すること |
| 22 回 | 学習内容 予習 復習 | 文献購読Ⅵ 指定された箇所を読み、担当者はレジュメを作成すること 討論を振り返り、課題を整理すること |
| 23 回 | 学習内容 予習 復習 | 文献購読Ⅶ 指定された箇所を読み、担当者はレジュメを作成すること 討論を振り返り、課題を整理すること |
| 24 回 | 学習内容 予習 復習 | 文献購読Ⅷ 指定された箇所を読み、担当者はレジュメを作成すること 討論を振り返り、課題を整理すること |
| 25 回 | 学習内容 予習 復習 | 文献購読Ⅸ 指定された箇所を読み、担当者はレジュメを作成すること 討論を振り返り、課題を整理すること |
| 26 回 | 学習内容 予習 復習 | 文献購読Ⅹ 指定された箇所を読み、担当者はレジュメを作成すること 討論を振り返り、課題を整理すること |
| 27 回 | 学習内容 予習 復習 | 卒業論文作成に向けてⅠ 卒論のテーマについて、レジュメを作成すること 討論を振り返り、課題を整理すること |
| 28 回 | 学習内容 予習 復習 | 卒業論文作成に向けてⅡ 調査地・調査項目について、レジュメを作成すること 討論を振り返り、課題を整理すること |
| 29 回 | 学習内容 予習 復習 | 卒業論文作成に向けてⅢ 使用する統計データについて、レジュメを作成すること 討論を振り返り、課題を整理すること |
| 30 回 | 学習内容 予習 復習 | 卒業論文作成に向けてⅣ 参考文献について、レジュメを作成すること 討論を振り返り、課題を整理すること |

| | | | | | | | |
|-----------------|--|----------------------|---------|----------------------------------|------------------------|------------------|-----|
| 科目名 | 人間文化演習〔情報科学分野〕 | | | | 科目コード | 8014 | |
| 英文名 | Graduation Research Seminar I [Information Science] | | | | 科目区分 | 【卒業研究】 (必修科目) | |
| 担当教員 | 速水 智子/日坂 彰 | | 教員コード | 151/137 | | 単位数 | 2単位 |
| 開講期間 | 通年 | 曜日・時限 | 木曜日・5時限 | | 授業形態 | 演習 | |
| 学位授与方針との対応 | <input type="radio"/> | 1.大学生としての幅広い教養を身につける | | <input type="radio"/> | 2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する | | |
| | <input type="radio"/> | 3.論理的・批判的なものの見方を養う | | <input checked="" type="radio"/> | 4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する | | |
| | <input type="radio"/> | 5.学習の過程で発見した課題を探究する | | <input type="radio"/> | 6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う | | |
| 授業概要 | 課題設定能力、情報収集・分析能力と解決案としての企画立案能力を養うことを目的としている。毎回テーマを提示し、教師と学生が問答を通して、学生の考える力を引き出すことをねらいとしている。授業の最後には、テーマに対して、自分の考えを記述し、まとめさせる授業構成となっている。 | | | | | | |
| 授業の狙い・到達目標 | 問題解決の流れや手法を理解させ、問題の構造や本質を見極めることができる能力を涵養する。問題の社会的背景や要点間の連関を俯瞰的視点で考える能力を定着させる。 | | | | | | |
| 授業内容のレベル・関連科目 | 少人数のチーム編成で問題・課題を抽出するために、積極的に発言してほしい。関連科目は「情報科学概論」、「ビジネス情報学」は受講していることが望ましい。 | | | | | | |
| 授業外学習(予習・復習) | 授業の最後に、まとめの復習スライドと次回講義の予習スライドを配布する。これにもとづいて、予習、復習すること。 | | | 授業外学習に必要な時間 | 各回4時間、合計120時間 | | |
| 使用教科書 | 桑田てるみ、「学生のレポート・論文作成トレーニング」改訂版、実教出版 | | | | | | |
| 参考書・その他教材 | 石井 一成、「ゼロからわかる大学生のためのレポート・論文の書き方」、ナツメ社 | | | | | | |
| 課題に対するフィードバック | 課題演習や不定期に「理解度の確認テスト」などをおこない、次の週に解答を示す。 | | | | | | |
| 成績評価方法 | ①試験(50%)、②レポート(40%)、③平常点(10%)により評価する。 | | | | | | |
| 成績評価基準 | 授業において、課題設定、情報収集・分析、解決案に積極的に取り組んでいるかどうか、また大学の学業成績判定に関する規程の基準に準拠する。 | | | | | | |
| 履修上の注意事項や学習上の助言 | 原則として毎回出席すること。メールや相談など個別に応じますので、遠慮なく申し出てください。創発的な交流と品格ある場を皆で形成していきましょう。必ず出席し、遅刻しないようにしましょう。 | | | | | | |
| 科目に関連した教員の業務経験 | なし | | | | | | |
| 担当教員への連絡方法 | 速水智子(はやみずさとこ)hayamizu@aikoku-u.org、日坂彰(にっさかあきら)anissaka@aikoku-u.org タイトル、学籍番号、氏名を忘れずに記入しましょう。 | | | | | | |

授業スケジュール

人間文化演習〔情報科学分野〕

| | | |
|-----|------------------|--|
| 1回 | 学習内容 予習 復習 | <ガイダンス>授業の進め方、目標の確認 シラバスをあらかじめ読んでおくこと 授業の進め方などについて振り返ること |
| 2回 | 学習内容 予習 復習 | <問題解決演習(1)> 問題解決演習PBLについて 演習の進め方の資料を読んでおくこと 演習課題について考える |
| 3回 | 学習内容 予習 復習 | <問題解決演習(1)> PBLの基本構成について 演習課題について考える 演習を振り返ること |
| 4回 | 学習内容 予習 復習 | <事例紹介>問題解決演習の進め方 演習課題について考える 演習内容についてまとめを作成すること |
| 5回 | 学習内容 予習 復習 | <事例紹介>チームによる解決手法 予習スライドを読んでくること 授業を振り返ること |
| 6回 | 学習内容 予習 復習 | <事例紹介>役割分担とコミュニケーション 予習スライドを読んでくること 授業を振り返ること |
| 7回 | 学習内容 予習 復習 | <事例紹介>学習計画とスケジューリング 予習スライドを読んでくること 授業を振り返ること |
| 8回 | 学習内容 予習 復習 | <事例紹介>情報収集分析演習 予習スライドを読んでくること 授業を振り返ること |
| 9回 | 学習内容 予習 復習 | <問題解決演習(2)> テーマAによる演習・ディスカッション 演習の進め方の資料を読んでおくこと 演習を振り返ること |
| 10回 | 学習内容 予習 復習 | <問題解決演習(2)> テーマAによる演習・ディスカッション 演習内容について考える 演習を振り返ること |
| 11回 | 学習内容 予習 復習 | <問題解決演習(2)> テーマAによる演習・ディスカッション 演習課題について考える 演習のまとめを作成すること |
| 12回 | 学習内容 予習 復習 | <問題解決演習(2)> レポート作成 予習スライドを読んでくること 演習を振り返る |
| 13回 | 学習内容 予習 復習 | <問題解決演習(2)> レポート作成 予習スライドを読んでくること 演習を振り返る |
| 14回 | 学習内容 予習 復習 | <発表と評価> 発表を準備する 演習を振り返る |
| 15回 | 学習内容 予習 復習 | <発表と評価> 発表を準備する 演習を振り返る |

授業スケジュール

人間文化演習[情報科学分野]

| | | |
|---------|---------------------------------------|--|
| 16 回 | 学習内容 予習 復習 | <問題解決演習(2)> テーマBによる演習 予習スライドを読むこと 演習を振り返ること |
| 17 回 | 学習内容 予習 復習 | <問題解決演習(2)> テーマBによる演習・ディカッション 予習スライドを読むこと 演習を振り返ること |
| 18 回 | 学習内容 予習 復習 | <問題解決演習(2)> テーマBによる演習・ディスカッション 予習スライドを読むこと 演習内容のまとめを作成すること |
| 19 回 | 学習内容 予習 復習 | <問題解決演習(2)> テーマBのレポート作成 予習スライドを読むこと 演習を振り返ること |
| 20 回 | 学習内容 予習 復習 | <問題解決演習(2)> テーマBのパワーポイント作成 予習スライドを読むこと 演習を振り返ること |
| 21 回 | 学習内容 予習 復習 | <問題解決演習(2)> テーマBのパワーポイント作成 予習スライドを読むこと 演習内容のまとめを作成すること |
| 22 回 | 学習内容 予習 復習 | <問題解決演習(2)> テーマCによる演習 予習スライドを読むこと 演習を振り返ること |
| 23 回 | 学習内容 予習 復習 | <問題解決演習(2)> テーマCによる演習・ディカッション 予習スライドを読むこと 演習を振り返ること |
| 24 回 | 学習内容 予習 復習 | <問題解決演習(2)> テーマCによる演習・ディスカッション 予習スライドを読むこと 演習を振り返ること |
| 25 回 | 学習内容 予習 復習 | <問題解決演習(2)> テーマCのレポート作成 予習スライドを読むこと 演習を振り返ること |
| 26 回 | 学習内容 予習 復習 | <問題解決演習(2)> テーマCのレポート作成 予習スライドを読むこと 演習を振り返ること |
| 27 回 | 学習内容 予習 復習 | <問題解決演習(2)> テーマCのパワーポイント作成 予習スライドを読むこと 演習を振り返ること |
| 28 回 | 学習内容 予習 復習 | <問題解決演習(2)> テーマCのパワーポイント作成 予習スライドを読むこと 発表の準備をする |
| 29 回 | 学習内容 予習 復習 | <発表と評価> 発表の準備をする 発表を振り返ること |
| 30 回 | 学習内容 予習 復習 | <発表と評価>総合発表 発表の準備をする 授業の全体を振り返ること |

| | | | | | | | |
|-----------------|---|----------------------|---------|----------------------------------|------------------------|------------------|-----|
| 科目名 | 人間文化演習〔ビジネス経営分野〕 | | | | 科目コード | 8015 | |
| 英文名 | Graduation Research Seminar I 〔Business Administration〕 | | | | 科目区分 | 【卒業研究】 (必修科目) | |
| 担当教員 | 溝田 俊之／呉 蔭 | | 教員コード | 156／157 | | 単位数 | 2単位 |
| 開講期間 | 通年 | 曜日・時限 | 月曜日・4時限 | | 授業形態 | 演習 | |
| 学位授与方針との対応 | <input type="radio"/> | 1.大学生としての幅広い教養を身につける | | <input type="radio"/> | 2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する | | |
| | <input checked="" type="radio"/> | 3.論理的・批判的なものの見方を養う | | <input checked="" type="radio"/> | 4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する | | |
| | <input type="radio"/> | 5.学習の過程で発見した課題を探究する | | <input checked="" type="radio"/> | 6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う | | |
| 授業概要 | この演習では、ビジネス経営分野において問題発見、解決方法の探索や学習、解決方策の提示、レポート作成を通じて、課題設定能力、情報収集・分析能力、解決法策定能力を養い、併せてプレゼンテーション能力を涵養する。 | | | | | | |
| 授業の狙い・到達目標 | 問題解決学習の方法で演習を行うことにより、問題解決のために必要な、問題を構造的に捉える能力、必要な情報を調査する能力などを養い、卒業論文を作成する能力を身につける | | | | | | |
| 授業内容のレベル・関連科目 | 大学生として期待される報告書、論文作成能力を養う演習である。 | | | | | | |
| 授業外学習(予習・復習) | 課題に関連する情報を事前に収集する。 | | | | 授業外学習に必要な時間 | 各回4時間、合計120時間 | |
| 使用教科書 | 桑田てるみ編、『学生のレポート・論文作成トレーニング』、実教出版 | | | | | | |
| 参考書・その他教材 | 特になし。 | | | | | | |
| 課題に対するフィードバック | レポート返却、プレゼンテーション時の指摘等を通じてフィードバックする。 | | | | | | |
| 成績評価方法 | レポート作成への取組、PBLへの取組、内容、プレゼンテーションを総合して評価する。 | | | | | | |
| 成績評価基準 | 学習の到達目標にどれくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程に基づき評価する。 | | | | | | |
| 履修上の注意事項や学習上の助言 | 教室では携帯電話、スマートフォンの使用厳禁。 | | | | | | |
| 科目に関連した教員の実務経験 | 溝田：千葉県職員として農業改良普及事業を担当し、問題解決学習による青少年育成に携わった。実業人養成のための「青少年育成」では本講義で取り入れるPBLと近い手法であるプロジェクト学習法を古くから採用している。 | | | | | | |
| 担当教員への連絡方法 | 質問はメールでも受け付ける。(mail to: mizota@aikoku-u.org/wu@aikoku-u.org) 件名に科目名・曜日・時限、本文に学籍番号・氏名を必ず記載すること | | | | | | |

授業スケジュール

人間文化演習〔ビジネス経営分野〕

| | | |
|-----|------------------|--|
| 1回 | 学習内容 予習 復習 | ガイダンス 問題解決演習PBLについて。 特になし。 配付したレジュメを読み、振り返る。 |
| 2回 | 学習内容 予習 復習 | レポート、論文の書き方。レポート・論文のルール、構成要素、形式を学ぶ。 教科書を読んでくこと。 本日の授業内容を振り返る。 |
| 3回 | 学習内容 予習 復習 | レポート、論文の書き方。レポート・論文のルール、構成要素、形式を学ぶ。 教科書を読んでくこと。 本日の授業内容を振り返る。 |
| 4回 | 学習内容 予習 復習 | レポート作成演習。与えられたテーマについてレポートを作成する。 教科書を読み、前回までの内容を振り返っておく。 レポートに対する指摘事項等に対応し修正する。 |
| 5回 | 学習内容 予習 復習 | レポート作成演習。与えられたテーマについてレポートを作成する。 教科書を読み、前回までの内容を振り返っておく。 レポートに対する指摘事項等に対応し修正する。 |
| 6回 | 学習内容 予習 復習 | レポート作成演習。与えられたテーマについてレポートを作成する。 教科書を読み、前回までの内容を振り返っておく。 レポートに対する指摘事項等に対応し修正する。 |
| 7回 | 学習内容 予習 復習 | レポート作成演習。与えられたテーマについてレポートを作成する。 教科書を読み、前回までの内容を振り返っておく。 レポートに対する指摘事項等に対応し修正する。 |
| 8回 | 学習内容 予習 復習 | レポート作成演習。与えられたテーマについてレポートを作成する。 教科書を読み、前回までの内容を振り返っておく。 レポートに対する指摘事項等に対応し修正する。 |
| 9回 | 学習内容 予習 復習 | PBLの基本構成について事例を見ながら学習する。 教科書を読み、前回までの内容を振り返っておく。 配付したレジュメを読み、振り返る。 |
| 10回 | 学習内容 予習 復習 | 問題解決演習の進め方について事例を見ながら学習する。 前回配付のレジュメを読み、学習内容を確認する。 配付したレジュメを読み、振り返る。 |
| 11回 | 学習内容 予習 復習 | チームによる解決手法について事例を見ながら学習する。 前回配付のレジュメを読み、学習内容を確認する。 配付したレジュメを読み、振り返る。 |
| 12回 | 学習内容 予習 復習 | 役割分担とコミュニケーションについて事例を見ながら学習する。 前回配付のレジュメを読み、学習内容を確認する。 配付したレジュメを読み、振り返る。 |
| 13回 | 学習内容 予習 復習 | 学習計画とスケジューリングについて事例を見ながら学習する。 前回配付のレジュメを読み、学習内容を確認する。 配付したレジュメを読み、振り返る。 |
| 14回 | 学習内容 予習 復習 | 情報収集と分析について事例を見ながら学習する。 前回配付のレジュメを読み、学習内容を確認する。 配付したレジュメを読み、振り返る。 |
| 15回 | 学習内容 予習 復習 | 前半のまとめ。 第2回～14回の内容を見返しておく。 授業内容を振り返る。 |

授業スケジュール

人間文化演習[ビジネス経営分野]

| | | |
|---------|---------------------------------------|--|
| 16 回 | 学習内容 予習 復習 | 試行テーマAによる演習 グループに分かれ、グループで与えられた課題の解決方法を見いだす。 解決に必要な情報、分析手法等の検索しておく。 指摘事項等に対応し、修正方法を検討しておく。 |
| 17 回 | 学習内容 予習 復習 | 第16回に同じ。 解決に必要な情報、分析手法等の検索しておく。 指摘事項等に対応し、修正方法を検討しておく。 |
| 18 回 | 学習内容 予習 復習 | 第16回に同じ。 解決に必要な情報、分析手法等の検索しておく。 指摘事項等に対応し、修正方法を検討しておく。 |
| 19 回 | 学習内容 予習 復習 | 第16回に同じ。 解決に必要な情報、分析手法等の検索しておく。 指摘事項等に対応し、修正方法を検討しておく。 |
| 20 回 | 学習内容 予習 復習 | 第16回に同じ。 解決に必要な情報、分析手法等の検索しておく。 指摘事項等に対応し、修正方法を検討しておく。 |
| 21 回 | 学習内容 予習 復習 | 第16回に同じ。 解決に必要な情報、分析手法等の検索しておく。 指摘事項等に対応し、修正方法を検討しておく。 |
| 22 回 | 学習内容 予習 復習 | 発表と評価。グループごとに発表を行い評価する。 テーマの課題とその解決方法をメンバーで共有しておく。 指摘事項等に対応し、最終的な修正を行う |
| 23 回 | 学習内容 予習 復習 | 試行テーマBによる演習 グループに分かれ、グループで与えられた課題の解決方法を見いだす。 解決に必要な情報、分析手法等の検索しておく。 指摘事項等に対応し、修正方法を検討しておく。 |
| 24 回 | 学習内容 予習 復習 | 第23回に同じ。 解決に必要な情報、分析手法等の検索しておく。 指摘事項等に対応し、修正方法を検討しておく。 |
| 25 回 | 学習内容 予習 復習 | 第23回に同じ。 解決に必要な情報、分析手法等の検索しておく。 指摘事項等に対応し、修正方法を検討しておく。 |
| 26 回 | 学習内容 予習 復習 | 第23回に同じ。 解決に必要な情報、分析手法等の検索しておく。 指摘事項等に対応し、修正方法を検討しておく。 |
| 27 回 | 学習内容 予習 復習 | 第23回に同じ。 解決に必要な情報、分析手法等の検索しておく。 指摘事項等に対応し、修正方法を検討しておく。 |
| 28 回 | 学習内容 予習 復習 | 第23回に同じ。 解決に必要な情報、分析手法等の検索しておく。 指摘事項等に対応し、修正方法を検討しておく。 |
| 29 回 | 学習内容 予習 復習 | 発表と評価。グループごとに発表を行い評価する。 テーマの課題とその解決方法をメンバーで共有しておく。 指摘事項等に対応し、最終的な修正を行う |
| 30 回 | 学習内容 予習 復習 | 総合発表 提出したレポート、課題解決のために収集した情報、分析方法等を振り返っておく。 全体を見返し、卒業論文の構想を固めておく。 |

| | | | | | | | |
|-----------------|--|----------------------|---------|----------------------------------|------------------------|-------------------|-----|
| 科目名 | 人間文化演習(国際協力分野) | | | | 科目コード | 8016 | |
| 英文名 | Graduation Research Seminar I [International Cooperation] | | | | 科目区分 | 【卒業研究】 (必修科目) | |
| 担当教員 | 伏見親子/梶原健嗣/栗林慶 | | 教員コード | 121/145/158 | | 単位数 | 2単位 |
| 開講期間 | 通年 | 曜日・時限 | 水曜日・4時限 | | 授業形態 | 演習 | |
| 学位授与方針との対応 | <input type="radio"/> | 1.大学生としての幅広い教養を身につける | | <input type="radio"/> | 2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する | | |
| | <input type="radio"/> | 3.論理的・批判的なものの見方を養う | | <input checked="" type="radio"/> | 4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する | | |
| | <input type="radio"/> | 5.学習の過程で発見した課題を探求する | | <input type="radio"/> | 6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う | | |
| 授業概要 | 前期は国際協力分野の教員が分担して各々の専門についての講義を行う。前期終了時に、学生は自分が指導を受ける教員を決める(人数によっては調整する)。後期は指導教員のもとで卒業研究の準備にとりかかる。 | | | | | | |
| 授業の狙い・到達目標 | 前期では卒業論文を制作するための基礎的な知識を身につけることを目的とする。後期では指導教員の方針に従って、卒業論文のテーマを視野に入れつつ、関連する知識を身につける。 | | | | | | |
| 授業内容のレベル・関連科目 | 2年次までの国際協力分野の専門科目を受講し、その基礎的な知識を得ていること | | | | | | |
| 授業外学習(予習・復習) | 教員から出された資料を授業前によく読んでおくこと 授業後には、学習内容を振り返り、ポイントをつかんでおくこと | | | | 授業外学習に必要な時間 | 各回4時間、 合計120時間 | |
| 使用教科書 | 特に用いない。 | | | | | | |
| 参考書・その他教材 | 各教員によるプリント教材、その他関連図書 | | | | | | |
| 課題に対するフィードバック | 各教員の授業担当回の終了時に、講評・総括を行う。学生からの疑問については、その都度、参考資料などを提示しつつ対応する。 | | | | | | |
| 成績評価方法 | レポートを含む提出書類と、授業への貢献度で総合的に評価する。 | | | | | | |
| 成績評価基準 | 学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。 | | | | | | |
| 履修上の注意事項や学習上の助言 | 卒業論文の準備となる内容なので、ノートをしっかり取ること。毎回の授業が論文作成の基礎となるので、出席は授業への貢献度として重視する。自分の専門分野に対する知識を深め、常に問題意識をもって、資料に当たること | | | | | | |
| 科目に関連した教員の実務経験 | 特になし | | | | | | |
| 担当教員への連絡方法 | 質問は、原則的に各教員の@aikoku-u.orgアドレスへのメール、または教員の指示した連絡方法で受け付ける。件名に科目名、曜日・時限、本文に学籍番号、氏名を必ず記載すること | | | | | | |

授業スケジュール

人間文化演習(国際協力分野)

| | | |
|-----|------------------|---|
| 1回 | 学習内容 予習 復習 | 国際協力分野の教員全員によるガイダンス 各教員の専門分野、授業の進め方についての説明 シラバスをよく読んで、授業概要、年間スケジュールを把握しておくこと 各教員の専門分野について、よく理解しておくこと |
| 2回 | 学習内容 予習 復習 | 比較文化(文化的背景とは) その1 配付資料をよく読んでおくこと 板書が多いので、授業中にノートしたことを、よく確認しておくこと |
| 3回 | 学習内容 予習 復習 | 比較文化(文化的背景とは) その2 配付資料をよく読んでおくこと 板書が多いので、授業中にノートしたことを、よく確認しておくこと |
| 4回 | 学習内容 予習 復習 | 時事英語(新聞と報道の英語) その1 配付資料を読み、英語の意味を理解しておくこと 板書が多いので、授業中にノートしたこと、特に時事英語特有の文法を、よく復習しておくこと |
| 5回 | 学習内容 予習 復習 | 時事英語(新聞と報道の英語) その2 配付資料を読み、英語の意味を理解しておくこと 板書が多いので、授業中にノートしたこと、特に時事英語特有の文法を、よく復習しておくこと |
| 6回 | 学習内容 予習 復習 | 国際協力・総論1, 草の根の国際協力 NPOやNGOについて、調べてみること。 講義を振り返り、レジュメを読み直すこと。 |
| 7回 | 学習内容 予習 復習 | 国際協力・総論2, 日本のODA ODAについて、調べてみること 講義を振り返り、レジュメを読み直すこと。 |
| 8回 | 学習内容 予習 復習 | 国際協力・各論1, ベトナム・インドネシアほか ベトナム、インドネシアを中心に、日本のODAについて調べてみること。 講義を振り返り、レジュメを読み直すこと。 |
| 9回 | 学習内容 予習 復習 | 国際協力・各論2, 中国・韓国ほか 中国・韓国を中心に、日本のODAについて調べてみること。 講義を振り返り、レジュメを読み直すこと。 |
| 10回 | 学習内容 予習 復習 | 工業地理 その1 なぜ工場は集まるのか 自分の知っている工場の多い地域について、工場数や規模、業種などを確認しておくこと。 講義内容のうち、地理学の考え方について重点的に復習をすること。 |
| 11回 | 学習内容 予習 復習 | 工業地理 その2 発展途上国の工業化とその課題 途上国における工場関係の労働問題や工場周辺で生じる環境問題などについて調べておくこと。 工業化が国や地域にどのような影響をもたらすか、メリット・デメリットを整理しておくこと。 |
| 12回 | 学習内容 予習 復習 | 工業地理 その3 越境する資本と世界に広がる生産のネットワーク 身の回りの工業製品がどこの国で作られているか、確認しておくこと。 工業製品の様々な国際分業について、講義内容を整理しておくこと。 |
| 13回 | 学習内容 予習 復習 | 工業地理 その4 地場産業における、海外製品との競合とモノづくりの意義 身の回りの日用品がどこの国で作られているか、確認しておくこと。 工業製品の価格競争について、講義内容を整理しておくこと。 |
| 14回 | 学習内容 予習 復習 | 授業進度の調整 これまでの学習を振り返り、調整分の授業の準備をすること 次回で指導教員を決定するので、自分のこれまでの学習内容を確認しておくこと |
| 15回 | 学習内容 予習 復習 | 指導教員の決定(担当学生人数の調整) これまでの授業内容を振り返り、指導を受けたい教員を考えておくこと 指導教員の指示に基づき、後期の準備をすること |

授業スケジュール

人間文化演習〔国際協力分野〕

| | | |
|---|---------------------------------------|---|
| 16 回 | 学習内容 予習 復習 | 授業概要の説明 学生の希望を聞き、半期の授業内容を検討する。 前期で配付された資料をよく読んで、授業に臨むこと 授業概要の説明を受け、何を研究対象としたいかを考えておくこと |
| 17 ・ 18 回 | 学習内容 予習 復習 | 何を研究対象とするかを、参考文献、過去の卒業論文を提示しつつ、学生の希望に沿って選択する。 論文の形式など、配付された資料をよく読んで、授業に臨むこと ノートした板書を見直し、内容をよく理解しておくこと ↓ |
| 19 ・ 20 ・ 21 ・ 22 ・ 23 回 | 学習内容 予習 復習 | 発表を担当する学生を決め、参考・関連の文献を読む。 教員は解説、問題点の指摘を行う。 担当する部分をよく読んで、疑問点など書き出しておくこと 教員の板書、説明をよく読んで、理解しておくこと ↓ |
| 24 回 | 学習内容 予習 復習 | 中間で、授業のレビューを行う。学生の希望を聞き、今後の文献やリサーチの方向を決める。 これまでの講読と説明で、理解できなかったこと、疑問点を書き出しておくこと リサーチの方向が決まったら、次回からは自分の発表と心得て、準備すること |
| 25 ・ 26 ・ 27 ・ 28 ・ 29 回 | 学習内容 予習 復習 | 関連文献の講読を行う。 学生には、積極的な発表の機会を与える。 担当学生は、発表の準備をすること それ以外の学生も文献に目を通しておくこと 発表に関する疑問点が残っていないか、改めて確認すること ↓ |
| 30 回 | 学習内容 予習 復習 | 卒業論文に向けた研究題目の検討 学生同士で研究対象を調整する。 これまでの授業内容から、卒業論文の研究題目をいくつか選んでおくこと 卒業論文の研究計画に着手すること |

| | | | | | | | |
|-----------------|---|----------------------|---------|----------------------------------|------------------------|-----|-----|
| 科目名 | 卒業研究演習〔人間文化分野〕 | | | 科目コード | 8021 | | |
| 英文名 | Graduation Research Seminar II〔Psychology〕 | | | 科目区分 | 【卒業研究】 (必修科目) | | |
| 担当教員 | 原島 雅之 | | 教員コード | 142 | | 単位数 | 2単位 |
| 開講期間 | 通年 | 曜日・時限 | 水曜日・3時限 | | 授業形態 | 演習 | |
| 学位授与方針との対応 | <input type="radio"/> | 1.大学生としての幅広い教養を身につける | | <input type="radio"/> | 2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する | | |
| | <input type="radio"/> | 3.論理的・批判的なものの見方を養う | | <input checked="" type="radio"/> | 4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する | | |
| | <input type="radio"/> | 5.学習の過程で発見した課題を探究する | | <input type="radio"/> | 6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う | | |
| 授業概要 | 心理学分野での卒業研究を行う学生を対象として個別に指導を行う。研究は、文献研究だけでなく、実証データに基づくものも含まれ、そのための方法や技術的な指導も随時行っていく。 | | | | | | |
| 授業の狙い・到達目標 | これまでの学修の仕上げとして、卒業研究の実施および卒業論文の作成、発表を目指す。 | | | | | | |
| 授業内容のレベル・関連科目 | 卒業研究は大学における学修の集大成としての位置づけとなる。心理学実験実習や心理学研究法、また自身の関心のある心理学分野の各科目についてはなるべく履修済みであること、あるいは少なくとも合わせての履修を行うことが望ましい。 | | | | | | |
| 授業外学習(予習・復習) | 必要に応じて文献などを自分で調べ、また収集したデータなどは十分に整理しておくなど、議論に参加できるよう準備をしてから臨むこと。授業中に議論した内容については自分なりにまとめ、適宜卒業論文に反映させること。 | | | 授業外学習に必要な時間 | 各回4時間、合計120時間 | | |
| 使用教科書 | 特に使用しない。必要に応じて資料を配布する。 | | | | | | |
| 参考書・その他教材 | 杉本敏夫(著)『心理学のためのレポート・卒業論文の書き方』サイエンス社 都築学(著)『心理学論文の書き方ーおいしい論文のレシピ』有斐閣アルマ | | | | | | |
| 課題に対するフィードバック | 提出された課題やレポートについては授業の際に適宜フィードバックを行う。 | | | | | | |
| 成績評価方法 | 卒業論文発表会30%、平常点70%(毎回の課題をきちんとこなしてきたか) | | | | | | |
| 成績評価基準 | 学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。 | | | | | | |
| 履修上の注意事項や学習上の助言 | 原則として毎回出席し、積極的に議論に参加すること。 | | | | | | |
| 科目に関連した教員の業務経験 | 特になし | | | | | | |
| 担当教員への連絡方法 | harashima@aikoku-u.org | | | | | | |

授業スケジュール

卒業研究演習〔人間文化分野〕

| | | |
|--|------------------|---|
| 1 回 | 学習内容 予習 復習 | ガイダンスー心理学の卒業論文を書くために シラバスを読み、授業の概要等について確認しておくこと 授業の目的や内容について自分なりに整理し、その後の学習の心構えを作っておくこと |
| 2 ・ 3 ・ 4 回 | 学習内容 予習 復習 | テーマの選定ー各自の興味関心に基づいて研究テーマの選定を行う 関心のある日常的な心理学的現象や研究テーマについて発表の準備をしておくこと 自分や他の人の発表をふまえて、自身の研究テーマについて考えをまとめること |
| 5 ・ 6 ・ 7 回 | 学習内容 予習 復習 | 先行研究の調査ー選定したテーマに関連する文献の調査を行う 自身の研究テーマに関連した論文を読み、内容について報告する準備をしておくこと 自分や他の人の発表をふまえて、引き続き文献の調査を行うこと |
| 8 ・ 9 回 | 学習内容 予習 復習 | 問題設定ー具体的な問題を設定し、研究目的を明らかにする 自身の研究における問題や仮説、研究目的について発表の準備をしておくこと 自分や他の人の発表をふまえて、問題や仮説、目的について整理しておくこと |
| 10 ・ 11 回 | 学習内容 予習 復習 | 実験計画の選定ー実験や調査などの研究方法を確定する 自身の研究における実験計画を立て、発表する準備をしておくこと 立てた実験計画に基づいて、実験や調査の準備をしておくこと |
| 12 ・ 13 ・ 14 ・ 15 回 | 学習内容 予習 復習 | データ収集ー実験や調査などを行い、データを収集する 実験や調査の準備状況や実施状況について報告を行えるようにしておくこと 引き続き実験や調査の準備あるいは実施を進めること |

授業スケジュール

卒業研究演習[人間文化分野]

| | | |
|--|--|---|
| <p>16 ・ 17 回</p> | <p>学習内容 予習 復習</p> | <p>中間発表－これまでの成果を発表し、研究内容や進め方について議論する ここまでの進捗状況や得られた結果などについて発表する準備をしておくこと 自分や他の人の発表をふまえて、さらに自身の研究を進めていくこと</p> |
| <p>18 ・ 19 ・ 20 回</p> | <p>学習内容 予習 復習</p> | <p>データ収集・分析－引き続きデータを収集し、データを分析・検討する 実験や調査によって得られたデータをもとめ、報告する準備をしておくこと 自分や他の人の発表をふまえて、さらにデータ収集や分析を進めること</p> |
| <p>21 ・ 22 ・ 23 ・ 24 ・ 25 ・ 26 回</p> | <p>学習内容 予習 復習</p> | <p>論文の執筆－論文の執筆を行う。論文の構成や書き方などについては随時助言、指導する 実際に論文を書き始める、もしくは書き始めるための準備をしておくこと 構成や書き方などについての助言をふまえて、引き続き論文の執筆を進めること</p> |
| <p>27 ・ 28 ・ 29 ・ 30 回</p> | <p>学習内容 予習 復習</p> | <p>仕上げ、提出、発表－提出する論文を仕上げ、十分な校正を行い、最終発表の準備をする 論文の提出に向けての仕上げ、および最終発表に向けての準備を進めること 引き続き論文の提出に向けての仕上げ、および最終発表に向けての準備を進めること</p> |

| | | | | | | | |
|-----------------|--|----------------------|---------|-------------------------------------|------------------------|-----|-----|
| 科目名 | 卒業研究演習〔人間文化分野〕 | | | 科目コード | 8021 | | |
| 英文名 | Graduation Research Seminar II〔Psychology〕 | | | 科目区分 | 【卒業研究】 (必修科目) | | |
| 担当教員 | 佐久間 直人 | | 教員コード | 148 | | 単位数 | 2単位 |
| 開講期間 | 通年 | 曜日・時限 | 水曜日・3時限 | | 授業形態 | 演習 | |
| 学位授与方針との対応 | <input type="checkbox"/> | 1.大学生としての幅広い教養を身につける | | <input checked="" type="checkbox"/> | 2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する | | |
| | <input type="checkbox"/> | 3.論理的・批判的なものの見方を養う | | <input type="checkbox"/> | 4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する | | |
| | <input type="checkbox"/> | 5.学習の過程で発見した課題を探求する | | <input type="checkbox"/> | 6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う | | |
| 授業概要 | 心理学分野での卒業研究を行う学生を対象として、研究と論文執筆について個別に指導を行う。研究は、文献研究だけでなく、実証データに基づくものも含まれる。そのための方法や技術的な指導も随時行っていく。 | | | | | | |
| 授業の狙い・到達目標 | これまでの学修の仕上げとして、卒業研究の実施および卒業論文の作成、発表を目指す。大学卒業に相応しい企画力(問題の設定・解決能力)・情報収集力・論理的思考力・データ処理能力・表現力などを身につける。 | | | | | | |
| 授業内容のレベル・関連科目 | 心理学系の科目を履修しておくことが望ましい。特に、心理学概論、心理学研究法、心理学実験実習を履修しておくことよい。 | | | | | | |
| 授業外学習(予習・復習) | 必要に応じて論文などを自分で調べ、収集したデータなどは十分に整理しておくなど、議論に参加できるよう準備してから授業に臨むこと。 | | | 授業外学習に必要な時間 | 各回4時間、合計120時間 | | |
| 使用教科書 | 特に指定しない。 | | | | | | |
| 参考書・その他教材 | 木下是雄『理科系の作文技術』中公新書 大山正・岩脇三良・宮埜壽夫『心理学研究法 データ収集・分析から論文作成まで』サイエンス社 | | | | | | |
| 課題に対するフィードバック | 演習形式であるため、当然、進捗状況・成果すべてに対して授業内で評価・指導をしていく。 | | | | | | |
| 成績評価方法 | 卒業論文発表会30%、平常点70%(毎回の課題をきちんとこなしてきたか) | | | | | | |
| 成績評価基準 | 到達目標に対して学習がどのくらい進んだかについて、本学の学業成績判定に関する規程の基準に従って評価する。 | | | | | | |
| 履修上の注意事項や学習上の助言 | 話を聞いていればよいという授業ではなく、自分で研究を進めていかなければならないことを自覚すること。 | | | | | | |
| 科目に関連した教員の実務経験 | 特になし。 | | | | | | |
| 担当教員への連絡方法 | 初回に、教員と学生が必ずお互いに連絡を取り合える方法を確保する。 | | | | | | |

授業スケジュール

卒業研究演習〔人間文化分野〕

| | | |
|---|------------------|---|
| 1回 | 学習内容 予習 復習 | ガイダンス:心理学分野で卒業論文を書くということについて 3年次までの復習をしておく。 授業内容を振り返り、研究ノートを準備する。 |
| 2回 | 学習内容 予習 復習 | テーマの選定①:各自の興味関心に基づいて研究テーマの選定を行う 心理学のトピック一覧を見直しておく。 授業で紹介された「研究領域」レベルにはテーマを絞る。 |
| 3回 | 学習内容 予習 復習 | テーマの選定②:各自の興味関心に基づいて研究テーマの選定を行う 心理学の研究方法一覧を見直しておく。 研究対象にする現象等をおおよそ絞る。 |
| 4回 | 学習内容 予習 復習 | テーマの選定③:各自の興味関心に基づいて研究テーマの選定を行う 「興味のある研究手法」も視野に入れて研究テーマを絞っておく。 研究対象の選定を受け、関係する授業内容等をまとめておく。 |
| 5回 | 学習内容 予習 復習 | 先行研究の調査① 文献収集と読んだ文献のまとめ方 選定した研究対象に関する文献の題目と要約文を集めておく。 授業で議論した内容から、自身が参考にしたい引用文献を選ぶ。 |
| 6回 | 学習内容 予習 復習 | 先行研究の調査② 先行研究の選定 授業で議論した内容から、自身が参考にしたい引用文献を選ぶ。 選んだ文献を読み込む。 |
| 7回 | 学習内容 予習 復習 | 先行研究の調査③ 先行研究の報告 選んだ文献の内容を報告するレジュメを作成しておく。 先行研究を受けて、自分自身が明らかにしたいことを整理しておく。 |
| 8回 | 学習内容 予習 復習 | 問題設定① 具体的な問題を設定し、研究目的を明らかにする 先行研究を受けて、自分自身が明らかにしたいことを整理しておく。 自身の設定した問題・目的を具体化するアイデアを用意しておく。 |
| 9回 | 学習内容 予習 復習 | 問題設定② 仮説の構築と変数の設定 自身の設定した問題・目的を具体化するアイデアを用意しておく。 これまでの研究ノートをしっかりまとめておく。 |
| 10回 ・ 11回 | 学習内容 予習 復習 | 実験計画・調査計画の確定 データの収集方法をおさらいしておく。 データの収集方法、スケジュール等を教員と確認し、実施準備を進める。 |
| 12回 ・ 13回 ・ 14回 ・ 15回 | 学習内容 予習 復習 | データ収集:実際に実験・調査・文献の収集などを行う しっかりと準備し、教員と一緒に確認すること。 必ずすぐに研究ノートやデータファイルにまとめておくこと。 |

授業スケジュール

卒業研究演習[人間文化分野]

| | | |
|--|---------------------------------------|--|
| 16 回 | 学習内容 予習 復習 | 中間発表:これまでの成果をまとめ、発表し、今後の進め方を議論する 中間発表の準備をしておくこと。 中間発表に関する議論を受けて、これまでのまとめと今後について研究ノートにまとめる。 |
| 17 ・ 18 ・ 19 回 | 学習内容 予習 復習 | データ収集・分析:引き続きデータ収集し、分析・検討する しっかりと準備し、教員と一緒に確認すること。 必ずすぐに研究ノートやデータファイルにまとめておくこと。 |
| 20 ・ 21 ・ 22 ・ 23 ・ 24 ・ 25 回 | 学習内容 予習 復習 | 卒業論文の作成 卒業論文の作成を進め、その内容を教員に伝えられるようにしておく。 指導内容を反映させて、卒業論文の作成を進める。 |
| 26 ・ 27 回 | 学習内容 予習 復習 | 仕上げと提出:まとめ、校正、提出を行う 卒業論文をよく読み直しておく。 卒業論文を提出できる状態に仕上げ、確認し、提出する。 |
| 28 回 | 学習内容 予習 復習 | 卒論発表会の準備① 要旨、発表資料の作成 要旨、発表資料をある程度作成しておく。 発表資料の準備、発表練習を行う。 |
| 29 回 | 学習内容 予習 復習 | 卒論発表会の準備② 発表練習 発表資料の準備・整理、発表練習をしておく。 発表資料の確認、発表練習を行う。 |
| 30 回 | 学習内容 予習 復習 | 最終チェックと修正等 卒業論文をよく読み直しておく。 研究ノート、データ、文献等、研究に使用したものを整理する。 |

| | | | | | |
|-----------------|---|----------------------|---------|------------------------|-------------------|
| 科目名 | 卒業研究演習〔人間文化分野〕 | | | 科目コード | 8021 |
| 英文名 | Graduation Research Seminar II 〔Linguistics and Cultural Anthropology〕 | | | 科目区分 | 【卒業研究】 (必修科目) |
| 担当教員 | 部田 和美 | 教員コード | 153 | 単位数 | 2単位 |
| 開講期間 | 通年 | 曜日・時限 | 水曜日・2時限 | 授業形態 | 演習 |
| 学位授与方針との対応 | ◎ | 1.大学生としての幅広い教養を身につける | ◎ | 2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する | |
| | ◎ | 3.論理的・批判的なものの見方を養う | ◎ | 4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する | |
| | ◎ | 5.学習の過程で発見した課題を探求する | ◎ | 6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う | |
| 授業概要 | 卒業論文の作成 | | | | |
| 授業の狙い・到達目標 | 卒業論文作成の一連の過程を通して、論理的な思考の展開ができるようにすること、それを文章にまとめる能力を身に付けることを目標とする。 | | | | |
| 授業内容のレベル・関連科目 | 人間文化演習(人間文化分野) | | | | |
| 授業外学習(予習・復習) | 教員に与えられた課題を期限までに行う | | | 授業外学習に必要な時間 | 各回4時間、 合計120時間 |
| 使用教科書 | 特になし | | | | |
| 参考書・その他教材 | 各々のテーマに合わせた文献を指定する | | | | |
| 課題に対するフィードバック | 毎回内容に問題点がないか確認する | | | | |
| 成績評価方法 | 卒業論文発表会30%、平常点70%(毎回の課題をきちんとこなしてきたか) | | | | |
| 成績評価基準 | 学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規定の基準に基づき評価する | | | | |
| 履修上の注意事項や学習上の助言 | 文献の精読や言語現象(用例)の収集などは短時間でまとめることはできないので、教員の指示に従い、週単位で定めた範囲を着実にこなすこと | | | | |
| 科目に関連した教員の実務経験 | 特になし | | | | |
| 担当教員への連絡方法 | torita@aikoku-u.ac.jp | | | | |

授業スケジュール

卒業研究演習〔人間文化分野〕

| | | |
|---|------------------|---|
| 1 回 | 学習内容 予習 復習 | ガイダンス 卒業論文について 卒業生の卒業論文を見ておく 教員が提示した課題を行う |
| 2 ・ 3 ・ 4 回 | 学習内容 予習 復習 | テーマの決定 関心のあるテーマについて具体的にまとめてみる・指定された文献を読む 教員が提示した課題を行う |
| 5 ・ 6 ・ 7 回 | 学習内容 予習 復習 | 論文の骨子、構成を決める 指定された文献を読む 教員が提示した課題を行う |
| 8 ・ 9 ・ 10 ・ 11 ・ 12 回 | 学習内容 予習 復習 | 論文作成(1~2章)先行研究まで 指定された文献を読む・資料収集 教員が提示した課題を行う |
| 13 ・ 14 ・ 15 回 | 学習内容 予習 復習 | 論文作成(3~4章)調査観察・分析・考察 資料をまとめる 教員が提示した課題を行う |

授業スケジュール

卒業研究演習〔人間文化分野〕

| | |
|--|--|
| 16 ・ 17 ・ 18 ・ 19 回 | <p>学習内容 論文作成(3～4章)調査観察・分析・考察</p> <p>予習 資料をまとめる</p> <p>復習 教員が提示した課題を行う</p> |
| 20 ・ 21 ・ 22 ・ 23 回 | <p>学習内容 論文作成(5～6章)まとめと課題</p> <p>予習 分析結果を確認しながらまとめる</p> <p>復習 教員が提示した課題を行う</p> |
| 24 ・ 25 ・ 26 回 | <p>学習内容 仕上げ、提出</p> <p>予習 全体を見直し、表紙、目次などを作成する</p> <p>復習 指示に従って手直しをする</p> |
| 27 ・ 28 回 | <p>学習内容 要旨作成</p> <p>予習 要旨を作成する</p> <p>復習 指示に従って要旨の手直しをする</p> |
| 29 ・ 30 回 | <p>学習内容 卒業論文の手直し</p> <p>予習 再読し間違いがないか確認する</p> <p>復習 教員が提示した課題を行う</p> |

| | | | | | | | |
|-----------------|---|--|---------|-------------|------------------|-----|-----|
| 科目名 | 卒業研究演習〔人間文化分野〕 | | | 科目コード | 8021 | | |
| 英文名 | Graduation Research Seminar I 〔Linguistics and Cultural Anthropology〕 | | | 科目区分 | 【卒業研究】 (必修科目) | | |
| 担当教員 | 清水 聖子 | | 教員コード | 132 | | 単位数 | 2単位 |
| 開講期間 | 通年 | 曜日・時限 | 金曜日・3時限 | | 授業形態 | 演習 | |
| 学位授与方針との対応 | <input type="radio"/> 1.大学生としての幅広い教養を身につける | <input type="radio"/> 2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する | | | | | |
| | <input type="radio"/> 3.論理的・批判的なものの見方を養う | <input type="radio"/> 4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する | | | | | |
| | <input type="radio"/> 5.学習の過程で発見した課題を探究する | <input type="radio"/> 6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う | | | | | |
| 授業概要 | 指導分野の中からテーマを選び、4年間学んだ総仕上げとして論文を取り組む。 | | | | | | |
| 授業の狙い・到達目標 | 卒業論文の作業を通して、4年間培った教養、専門知識、論理的思考、文章の書き方などの能力を発揮できることを目標とする。 | | | | | | |
| 授業内容のレベル・関連科目 | 4年間学んだすべての授業に関連する。特に、異文化理解と東洋文化論Ⅱの授業は指導分野のテーマと関連深い。 | | | | | | |
| 授業外学習(予習・復習) | 参考文献、指定文献はしっかり読む。与えられた課題はきちんとやる。 | | | 授業外学習に必要な時間 | 各回4時間、合計120時間 | | |
| 使用教科書 | なし | | | | | | |
| 参考書・その他教材 | 参考文献はテーマに合わせて適宜配布する。 | | | | | | |
| 課題に対するフィードバック | 随時授業中、または個人に対して、適度にフィードバックを行う。 | | | | | | |
| 成績評価方法 | 卒業論文発表会30%、平常点70%(毎回の課題をきちんとこなしてきたか) | | | | | | |
| 成績評価基準 | 学習の到達目標にどのぐらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。 | | | | | | |
| 履修上の注意事項や学習上の助言 | USBメモリ必携。 | | | | | | |
| 科目に関連した教員の実務経験 | 特になし。 | | | | | | |
| 担当教員への連絡方法 | 質問はメールでも受け付ける。(mail to : su@aikoku-u.ac.jp) 件名に科目名・曜日・時限、本文に学籍番号・氏名を必ず記載すること。 | | | | | | |

授業スケジュール

卒業研究演習〔人間文化分野〕

| | | |
|----------|------------------|--|
| 1回 | 学習内容 予習 復習 | ガイダンス→今後の授業と卒業論文作成までのスケジュールを説明する シラバスを熟読し、本演習のスケジュールについて把握しておく 本演習のスケジュール、卒業論文の目的、内容などについて振り返る |
| 2回 | 学習内容 予習 復習 | 思考マップを作る(テーマを考える) 関心のあるテーマについて考えてくる 関心のあるテーマについて調べる |
| 3回 | 学習内容 予習 復習 | 構想マップを作る(テーマを絞る) 思考マップを見直す 関心のあるテーマについて調べる |
| 4回 | 学習内容 予習 復習 | 構想マップを振り返り、テーマを決める 構想マップを見直す テーマ関するどんな文献・資料があるのか考え、調べてみる |
| 5・6・7・8回 | 学習内容 予習 復習 | 参考文献・資料を集める 参考文献・資料を読む 参考文献・資料を読んで要約する |
| 9・10回 | 学習内容 予習 復習 | 目標規定文を作る(論文の内容を考える) 目標規定文を考える 目標規定文を振り返る |
| 11・12回 | 学習内容 予習 復習 | 文章を組み立てる(アウトラインを考える) アウトラインを考える アウトラインを振り返る |
| 13・14回 | 学習内容 予習 復習 | 論文の執筆(序論) 目標規定文とアウトラインを振り返る 序論の内容について検討する |
| 15回 | 学習内容 予習 復習 | 夏期休暇中のスケジュール確認・本論の書き方・ポイント理解 序論を見直す 夏期休暇中のスケジュールを確認し、論文の進捗スケジュールを作る |

授業スケジュール

卒業研究演習[人間文化分野]

| | | |
|---|---------------------------------------|---|
| 16 回 | 学習内容 予習 復習 | 論文の進捗状況・内容を発表する(序論・本論) 本論を書く 論文の執筆を続け、助言・指導を受ける |
| 17 ・ 18 ・ 19 回 | 学習内容 予習 復習 | 論文の執筆(本論) 本論を書く 論文の執筆を続け、助言・指導を受ける ↓ |
| 20 ・ 21 ・ 22 ・ 23 ・ 24 回 | 学習内容 予習 復習 | 論文の執筆(結論) 結論を書く 論文の執筆を続け、助言・指導を受ける ↓ |
| 25 ・ 26 回 | 学習内容 予習 復習 | 論文の完成 論文を見直す 論文の執筆を続け、助言・指導を受ける ↓ |
| 27 回 | 学習内容 予習 復習 | 発表の準備(要旨作成) 要旨を作成する 要旨を見直す |
| 28 回 | 学習内容 予習 復習 | 発表の準備(プレゼンテーション資料作成) 資料作成 資料を見直す |
| 29 回 | 学習内容 予習 復習 | 発表の準備(口頭発表の練習) プレゼンテーション資料を練習してみる スムーズに発表できるかどうか、もう一度練習する |
| 30 回 | 学習内容 予習 復習 | 発表 卒業研究発表会の発表練習 卒業研究発表会を振り返る |

| | | | | | |
|------------------------|---|--------------------|------------------------|--------------|------------------|
| 科目名 | 卒業研究演習〔人間文化分野〕 | | | 科目コード | 8021 |
| 英文名 | Graduation Research Seminar II 〔Linguistics and Cultural Anthropology〕 | | | 科目区分 | 【卒業研究】 (必修科目) |
| 担当教員 | 山崎 寿美子 | 教員コード | 147 | 単位数 | 2単位 |
| 開講期間 | 通年 | 曜日・時限 | 木曜日・3時限 | 授業形態 | 演習 |
| 学位授与方針との対応 | 1.大学生としての幅広い教養を身につける | | 2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する | | |
| | 3.論理的・批判的なものの見方を養う | ○ | 4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する | | |
| | 5.学習の過程で発見した課題を探究する | ○ | 6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う | | |
| 授業概要 | テーマを選び、論文の作成に取り組む。テーマの決定、問いの設定、先行研究の検討、フィールドワークの実施、データ整理、問いの見直し、執筆、推敲という過程を通して、論文を仕上げる。 | | | | |
| 授業の狙い・到達目標 | 論文作成の過程を通して、論理的な思考と的確な表現の記述ができるようになる。また、自分で研究の問いをたて、それに応じた調査を行なうことができるようになる。 | | | | |
| 授業内容のレベル・関連科目 | テーマに関するフィールドワークができ、そのデータをもとに、自分の言葉で、論理的に文章を展開できること。 | | | | |
| 授業外学習(予習・復習) | 授業の前後に、論文作成に必須である参考文献を読みこなすこと。また、演習で受けたアドバイス等をもとに、論文の推敲をしていくこと。 | 授業外学習に必要な時間 | 各回4時間、合計120時間 | | |
| 使用教科書 | 使用しない。 | | | | |
| 参考書・その他教材 | 学生の論文テーマに応じて、随時指示する。 | | | | |
| 課題に対するフィードバック | 各回に学生が提出あるいは発表する内容について、授業内でコメントをするほか、論文の添削を行なっていく。 | | | | |
| 成績評価方法 | 卒業論文発表会30%、平常点70%(毎回の課題をきちんとこなしてきたか) | | | | |
| 成績評価基準 | 学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。 | | | | |
| 履修上の注意事項や学習上の助言 | USBメモリを用意すること。論文執筆はもちろん、フィールドワークを行なうので、主体的な取り組みの姿勢が不可欠である。 | | | | |
| 科目に関連した教員の実務経験 | 特になし | | | | |
| 担当教員への連絡方法 | 質問はメール(yamazaki@aikoku-u.org)で受け付ける。質問の際は、科目名、学籍番号、氏名を必ず記載すること。 | | | | |

授業スケジュール

卒業研究演習〔人間文化分野〕

| | | |
|---|---------------------------------------|---|
| 1回 | 学習内容 予習 復習 | フィールドワークの実施と卒業論文を作成するスケジュールについて説明する。 シラバスをよく読み、フィールドワークと論文作成の流れをつかんでおくこと。 授業をふまえて、自分のフィールドワークと論文作成のスケジュールを具体的に考える。 |
| 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5回 | 学習内容 予習 復習 | テーマを決める。そのために、3年次に引き続き、先行研究を読んで発表する。 事前に配布した先行研究を読み、レジュメを作ってくること。 授業での質問やコメントを受けて、先行研究について批判的に検討する。 |
| 6回 | 学習内容 予習 復習 | 研究の「問い」を立てる。 先行研究の検討によって出てきた疑問や意見をまとめ、「問い」を考えてくること。 授業での話し合いやコメントを受けて、「問い」を見直し、よりよいものにする。 |
| 7回 | 学習内容 予習 復習 | 「問い」に照らして研究目的を書く。研究目的は、内容の執筆過程でブラッシュアップしていく。 これまでに読んだ先行研究と自分が立てた「問い」を見直し、研究の目的を考えてくること。 授業での話し合いやコメントを受けて、研究の目的を書き直してよりよいものにする。 |
| 8回 | 学習内容 予習 復習 | 論文全体の構成を考え、目次を書く。 論文全体のおおまかなイメージを持ち、構成を考えてくること。 授業での話し合いやコメントを受けて、構成を練り直す。 |
| 9回 | 学習内容 予習 復習 | これまでに読んだ先行研究、「問い」、研究目的に照らして、序章を書く。 先行研究、「問い」、研究目的を合わせて見直し、序章を考えてくる。 授業での話し合いやコメントを受けて、序章を練り直す。 |
| 10 ・ 11 ・ 12 ・ 13回 | 学習内容 予習 復習 | テーマに合わせて先行研究を検討し、第1章を書く。フィールドワークについて考え始める。 適切な先行研究を読んで、まとめ、自分の研究の「問い」に照らしながら第1章を書くこと。 添削を受けて、第1章をブラッシュアップしていく。調査地の選択肢をあげておく。 |
| 14回 | 学習内容 予習 復習 | 調査地を決定し、フィールドワークの準備をする。 教員と話し合えるように調査地を決めておく。 アドバイスやコメントを受けて、調査地を決定し、期間や方法について考える。 |
| 15回 | 学習内容 予習 復習 | インフォーマントと連絡を取り、調査のスケジュールを立てる。夏季休暇中にフィールドワークを進める。 調査地の情報収集を行ない、窓口となるインフォーマントに連絡を取っておくこと。 アドバイスやコメントを受けて、調査のスケジュールを練り直す。 |

授業スケジュール

卒業研究演習〔人間文化分野〕

| | | |
|--|--|---|
| <p>16 ・ 17 ・ 18 ・ 19 回</p> | <p>学習内容 ・ 予習 復習</p> | <p>フィールドワークを進めながら、データの整理と分析を行なう。 フィールドワークを継続するとともに、収集したデータを書いていくこと。 アドバイスをコメント受けて、データのまとめを行なうとともに、フィールドワークの方向性を見直す。</p> |
| <p>20 ・ 21 ・ 22 ・ 23 回</p> | <p>学習内容 ・ 予習 復習</p> | <p>フィールドワークを受けて、事例研究の章を書く。 フィールドワークのデータ分析をもとに、事例を書いていくこと。 授業での話し合いやコメントを受けて、事例の記述を練り直す。</p> |
| <p>24 ・ 25 ・ 26 回</p> | <p>学習内容 ・ 予習 復習</p> | <p>先行研究や「問い」に照らし、データを分析し、論文の考察を書く。 第1章でとりあげた先行研究について読み返し、自分のデータと突き合わせて、意見を書いてくる。 授業での話し合いやコメントを受けて、構成を練り直す。</p> |
| <p>27 ・ 28 回</p> | <p>学習内容 ・ 予習 復習</p> | <p>まとめを書き、論文を完成させる。 これまでに書いた本文を読み直し、全体のまとめを書いておく。 授業での話し合いやコメントを受けて、文章を練り直す。</p> |
| <p>29 ・ 30 回</p> | <p>学習内容 ・ 予習 復習</p> | <p>卒論発表会に向けて、プレゼンテーションの準備を行なう。 論文の内容をわかりやすく伝えられるようパワーポイントでスライドを作ってくる。 授業での話し合いやコメントを受けて、スライドを練り直す。</p> |

| | | | | | | |
|------------------------|---|----------------------|--------------|------------------------|---------------|-------------------|
| 科目名 | 卒業研究演習(生活科学分野) | | | 科目コード | 8022 | |
| 英文名 | Graduation Research Seminar II (Life Science) | | | 科目区分 | 【卒業研究】(必修科目) | |
| 担当教員 | 市川 遥夏 | | 教員コード | 134 | | 単位数 2単位 |
| 開講期間 | 通年 | 曜日・時限 | 火曜日・1時限 | | 授業形態 | 演習 |
| 学位授与方針との対応 | ◎ | 1.大学生としての幅広い教養を身につける | ◎ | 2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する | | |
| | ○ | 3.論理的・批判的なものの見方を養う | ◎ | 4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する | | |
| | ◎ | 5.学習の過程で発見した課題を探求する | ◎ | 6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う | | |
| 授業概要 | 「食文化」、「香料」に関する幅広い学問領域の研究テーマについて、これまで習得してきた内容の集大成として、卒業研究を行う。研究テーマを選び、文献調査を行い、その成果を卒業論文としてまとめ、発表し提出する。 | | | | | |
| 授業の狙い・到達目標 | 課題の設定、課題解決方法、課題に対する成果の発表と報告等の実践に役立つ能力を養い、研究を遂行する意欲と問題発見・解決能力を身につける。 | | | | | |
| 授業内容のレベル・関連科目 | 問題発見能力や問題解決能力、及びプレゼンテーション・ディスカッション能力を身につける。 | | | | | |
| 授業外学習(予習・復習) | 各回ゼミの内容に応じ、予習として文献を探し、内容について十分に検討を行う。ゼミ後、検討した内容を自主的に整理し、理解を深めたのちに卒業論文に取り組む。 | | | 授業外学習に必要な時間 | 各回4時間、合計120時間 | |
| 使用教科書 | 随時紹介する。 | | | | | |
| 参考書・その他教材 | 随時紹介する。 | | | | | |
| 課題に対するフィードバック | 随時フィードバックを行う。 | | | | | |
| 成績評価方法 | 卒業論文発表会30%、平常点70%(毎回の課題をきちんとこなしてきたか) | | | | | |
| 成績評価基準 | 学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。 | | | | | |
| 履修上の注意事項や学習上の助言 | 積極的にゼミに参加し、わからないことがあれば直ちに質問すること。USBメモリ必携。 | | | | | |
| 科目に関連した教員の業務経験 | 特になし。 | | | | | |
| 担当教員への連絡方法 | オフィスアワー:木曜日昼休み(研究室:2号館2階4号室) 質問はメールでも受け付ける(ichikawa@aikoku-u.org) | | | | | |

授業スケジュール

卒業研究演習(生活科学分野)

| | | |
|---|---------------------------------------|---|
| 1回 | 学習内容 予習 復習 | ガイダンス、卒業研究の進め方を説明する。 シラバスを熟読し、授業の概要についておおむね理解しておくこと。 論文作成の手順について振り返り、理解を深めること。 |
| 2回 3回 4回 | 学習内容 予習 復習 | 3年次に引き続き、関心のあるテーマ発表を続ける。(研究背景・研究目的の確認) ゼミ内容に応じ、発表内容について十分に検討を行う。 ゼミ後、検討した内容を自主的に整理し、理解を深めること。 |
| 5回 6回 | 学習内容 予習 復習 | 研究テーマに関する内容の吟味と討論を行う。 ゼミ内容に応じ、文献を探し、内容について十分に検討を行う。 ゼミ後、検討した内容を自主的に整理し、理解を深めること。 |
| 7回 8回 9回 10回 | 学習内容 予習 復習 | 卒業論文に関するデータの収集を行い、具体的な内容を検討し、整理を行う。 ゼミ内容に応じ、データの収集し、内容について十分に検討を行う。 ゼミ後、検討した内容を自主的に整理し、理解を深めること。 |
| 11回 12回 13回 | 学習内容 予習 復習 | 論文の構成、序章と本論に入る。随時に助言および指導をする。3,000字を目標とする。 論文の執筆すること。3,000字を目標に書き進めていく。 ゼミ後、検討した内容を自主的に整理し、改善を行うこと。 |
| 14回 15回 | 学習内容 予習 復習 | 中間報告、夏季休暇時の課題提示。 中間報告のまとめ、プレゼンテーションの準備をすること。 ゼミ後、検討した内容を自主的に整理し、改善を行うこと。 |

授業スケジュール

卒業研究演習〔生活科学分野〕

| | | |
|--|---------------------------------------|---|
| 16 回 | 学習内容 予習 復習 | 夏季休暇時の課題についてプレゼンテーションを行い、適切な質疑応答をする。 プレゼンテーションを準備し、自己練習をすること。 ゼミ後、検討した内容を自主的に整理し、改善を行うこと。 |
| 17 ・ 18 回 | 学習内容 予習 復習 | 論文の本論に入る。随時に助言および指導をする。6,000字を目標とする。 論文の執筆すること。6,000字を目標に書き進めていく。 ゼミ後、検討した内容を自主的に整理し、改善を行うこと。 |
| 19 ・ 20 ・ 21 ・ 22 回 | 学習内容 予習 復習 | 論文の本論に入る。随時に助言および指導をする。9,000字を目標とする。 論文の執筆すること。9,000字を目標に書き進めていく。 ゼミ後、検討した内容を自主的に整理し、改善を行うこと。 |
| 23 ・ 24 ・ 25 ・ 26 回 | 学習内容 予習 復習 | 論文を完成させる。12,000字以上を目標とする。 論文の執筆すること。12,000字以上を目標に書き進めていく。 ゼミ後、検討した内容を自主的に整理し、改善を行うこと。 |
| 27 ・ 28 回 | 学習内容 予習 復習 | 論文の校正を行う。最終発表の準備をする。 要旨および作成したスライドを見直すこと。 ゼミ後、フィードバックをもらった内容を自主的に整理し、手直しを行うこと。 |
| 29 ・ 30 回 | 学習内容 予習 復習 | 論文最終発表の準備をする。 発表の練習を行うこと。 ゼミ後、フィードバックをもらった内容を自主的に整理し、発表練習を行うこと。 |

| | | | | | |
|------------------------|--|----------------------|--------------------|------------------------|------------------|
| 科目名 | 卒業研究演習〔環境福祉分野〕 | | | 科目コード | 8023 |
| 英文名 | Graduation Research Seminar II 〔Environmental Study and Social Welfare〕 | | | 科目区分 | 【卒業研究】 (必修科目) |
| 担当教員 | 中村 塑 | 教員コード | 138 | 単位数 | 2単位 |
| 開講期間 | 通年 | 曜日・時限 | 水曜日・1時限 | 授業形態 | 演習 |
| 学位授与方針との対応 | | 1.大学生としての幅広い教養を身につける | | 2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する | |
| | ◎ | 3.論理的・批判的なものの見方を養う | | 4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する | |
| | ○ | 5.学習の過程で発見した課題を探求する | | 6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う | |
| 授業概要 | 環境福祉分野で卒業研究を行う学生を対象とする。調査の方法、統計の利用、論文の書き方と資料の調べ方などの知識・技術を身につけ、さらに深めていく。 | | | | |
| 授業の狙い・到達目標 | 環境福祉分野のなかで、各自が問題を設定する。それについて調査・分析を行い、卒業論文を作成する。 | | | | |
| 授業内容のレベル・関連科目 | 卒業研究は4年間の学修の集大成であり、最も高度なレベルに位置するものである。これまでに履修した科目から得られた知識を十分活用してほしい。 | | | | |
| 授業外学習(予習・復習) | 報告と討論を重視する。したがって、事前に報告することをまとめておくこと。事後にどのような討論が行われたのか振り返ること。 | | 授業外学習に必要な時間 | 各回4時間、合計120時間 | |
| 使用教科書 | なし | | | | |
| 参考書・その他教材 | なし | | | | |
| 課題に対するフィードバック | 討論の中でコメントする。 | | | | |
| 成績評価方法 | 卒業論文発表会30%、平常点70%(毎回の課題をきちんとこなしてきたか) | | | | |
| 成績評価基準 | 学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。 | | | | |
| 履修上の注意事項や学習上の助言 | 積極的にゼミに参加し、わからないことがあれば質問すること。 | | | | |
| 科目に関連した教員の実務経験 | | | | | |
| 担当教員への連絡方法 | メールアドレス:nakamura@aikoku-u.org 研究室:2号館2階研究室7 TEL:043-424-4892 | | | | |

授業スケジュール

卒業研究演習〔環境福祉分野〕

| | | |
|------------|---------------------------------------|---|
| 1回 | 学習内容 予習 復習 | ガイダンス(授業の概要や目標などを確認する) シラバスをよく読んでおくこと 授業中に教員が話したことを振り返ること |
| 2回 | 学習内容 予習 復習 | テーマの決定 I 興味のあるテーマを探り、報告資料を作成する。 討論を振り返り、課題を確認する。 |
| 3回 | 学習内容 予習 復習 | テーマの決定 II 興味のあるテーマを探り、報告資料を作成する。 討論を振り返り、課題を確認する。 |
| 4回 | 学習内容 予習 復習 | テーマの決定 III 興味のあるテーマを探り、報告資料を作成する。 討論を振り返り、課題を確認する。 |
| 5回 | 学習内容 予習 復習 | 先行研究の整理 I 関連する文献を読み、学問の流れの中で自分の研究を位置づける。報告資料を作成する。 討論を振り返り、課題を確認する。 |
| 6回 | 学習内容 予習 復習 | 先行研究の整理 II 関連する文献を読み、学問の流れの中で自分の研究を位置づける。報告資料を作成する。 討論を振り返り、課題を確認する。 |
| 7回 | 学習内容 予習 復習 | 先行研究の整理 III 関連する文献を読み、学問の流れの中で自分の研究を位置づける。報告資料を作成する。 討論を振り返り、課題を確認する。 |
| 8回 | 学習内容 予習 復習 | 先行研究の整理 IV 関連する文献を読み、学問の流れの中で自分の研究を位置づける。報告資料を作成する。 討論を振り返り、課題を確認する。 |
| 9回 | 学習内容 予習 復習 | 統計の利用 I 統計資料を調査・分析する。報告資料を作成する。 討論を振り返り、課題を確認する。 |
| 10回 | 学習内容 予習 復習 | 統計の利用 II 統計資料を調査・分析する。報告資料を作成する。 討論を振り返り、課題を確認する。 |
| 11回 | 学習内容 予習 復習 | 統計の利用 III 統計資料を調査・分析する。報告資料を作成する。 討論を振り返り、課題を確認する。 |
| 12回 | 学習内容 予習 復習 | 調査地と調査項目 I 調査地と調査項目を決める。報告資料を作成する。 討論を振り返り、課題を確認する。 |
| 13回 | 学習内容 予習 復習 | 調査地と調査項目 II 調査地と調査項目を決める。報告資料を作成する。 討論を振り返り、課題を確認する。 |
| 14回 | 学習内容 予習 復習 | 調査地と調査項目 III 調査地と調査項目を決める。報告資料を作成する。 討論を振り返り、課題を確認する。 |
| 15回 | 学習内容 予習 復習 | 前期のまとめ 各回の討論を振り返る 夏季休暇中の課題を確認する |

授業スケジュール

卒業研究演習〔環境福祉分野〕

| | | |
|---------|---------------------------------------|--|
| 16 回 | 学習内容 予習 復習 | 調査の報告 I 夏季休暇中の調査結果を分析する。報告資料を作成する。 討論を振り返り、課題を確認する。 |
| 17 回 | 学習内容 予習 復習 | 調査の報告 II 夏季休暇中の調査結果を分析する。報告資料を作成する。 討論を振り返り、課題を確認する。 |
| 18 回 | 学習内容 予習 復習 | 論文の作成 I 論文の進捗状況について、報告資料を作成する。 討論を振り返り、課題を確認する。 |
| 19 回 | 学習内容 予習 復習 | 論文の作成 II 論文の進捗状況について、報告資料を作成する。 討論を振り返り、課題を確認する。 |
| 20 回 | 学習内容 予習 復習 | 論文の作成 III 論文の進捗状況について、報告資料を作成する。 討論を振り返り、課題を確認する。 |
| 21 回 | 学習内容 予習 復習 | 論文の作成 IV 論文の進捗状況について、報告資料を作成する。 討論を振り返り、課題を確認する。 |
| 22 回 | 学習内容 予習 復習 | 論文の作成 V 論文の進捗状況について、報告資料を作成する。 討論を振り返り、課題を確認する。 |
| 23 回 | 学習内容 予習 復習 | 論文の作成 VI 論文の進捗状況について、報告資料を作成する。 討論を振り返り、課題を確認する。 |
| 24 回 | 学習内容 予習 復習 | 論文の作成 VII 論文の進捗状況について、報告資料を作成する。 討論を振り返り、課題を確認する。 |
| 25 回 | 学習内容 予習 復習 | 論文の完成 I 論文を完成させる。 討論を振り返り、課題を確認する。 |
| 26 回 | 学習内容 予習 復習 | 論文の完成 II 論文を完成させる。 討論を振り返り、課題を確認する。 |
| 27 回 | 学習内容 予習 復習 | 発表に向けて I 卒業論文の要旨を作成する。 討論を振り返り、課題を確認する。 |
| 28 回 | 学習内容 予習 復習 | 発表に向けて II 卒業論文の要旨を作成する。 討論を振り返り、課題を確認する。 |
| 29 回 | 学習内容 予習 復習 | 発表に向けて III 卒業論文発表会の準備をする。 討論を振り返り、課題を確認する。 |
| 30 回 | 学習内容 予習 復習 | 発表に向けて II 卒業論文発表会の準備をする。 討論を振り返り、課題を確認する。 |

| | | | | | | | |
|-----------------|---|----------------------|---------|----------------------------------|------------------------|------------------|--|
| 科目名 | 卒業研究演習〔情報科学分野〕 | | | | 科目コード | 8024 | |
| 英文名 | Graduation Research Seminar II [Information Science] | | | | 科目区分 | 【卒業研究】 (必修科目) | |
| 担当教員 | 速水 智子 | | 教員コード | 151 | 単位数 | 2単位 | |
| 開講期間 | 通年 | 曜日・時限 | 水曜日・3時限 | | 授業形態 | 演習 | |
| 学位授与方針との対応 | <input type="radio"/> | 1.大学生としての幅広い教養を身につける | | <input type="radio"/> | 2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する | | |
| | <input type="radio"/> | 3.論理的・批判的なものの見方を養う | | <input checked="" type="radio"/> | 4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する | | |
| | <input type="radio"/> | 5.学習の過程で発見した課題を探求する | | <input type="radio"/> | 6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う | | |
| 授業概要 | 日常生活に関連したさまざまな問題や課題について情報技術を利用した問題解決の手法を体系的に学び、卒業研究に展開する。 | | | | | | |
| 授業の狙い・到達目標 | 課題の探究、解決手法についての理解、情報技術の適応と手法の創造、システムの検証、成果の公開を通して、卒業研究を進めていく。自由な発想と独自の着眼点を養う。 | | | | | | |
| 授業内容のレベル・関連科目 | 少人数のチーム編成で問題・課題を抽出するために、積極的に発言してほしい。関連科目は「情報科学概論」、「ビジネス情報学」は受講していることが望ましい。 | | | | | | |
| 授業外学習(予習・復習) | 授業の最後に、まとめの復習スライドと次回講義の予習スライドを配布する。これにもとづいて、予習、復習すること。 | | | | 授業外学習に必要な時間 | 各回4時間、合計120時間 | |
| 使用教科書 | 桑田てるみ、「学生のレポート・論文作成トレーニング」、改訂版、実教出版 | | | | | | |
| 参考書・その他教材 | 石井 一成、「ゼロからわかる大学生のためのレポート・論文の書き方」、ナツメ社、オリジナルテキストも配布する。 | | | | | | |
| 課題に対するフィードバック | 課題演習や不定期に「理解度の確認テスト」などをおこない、次の週に解答を示す。 | | | | | | |
| 成績評価方法 | 卒業論文発表会30%、平常点70%(毎回の課題をきちんとこなしてきたか) | | | | | | |
| 成績評価基準 | 授業において、課題設定、情報収集、論文制作に積極的に取り組んでいるかどうか、また本学の学業成績判定に関する規程の基準に準拠する。 | | | | | | |
| 履修上の注意事項や学習上の助言 | 原則として毎回出席すること。メールや相談など個別に応じますので、遠慮なく申し出てください。創発的な交流と品格ある場を皆で形成していきましょう。必ず出席し、遅刻しないようにしましょう。 | | | | | | |
| 科目に関連した教員の実務経験 | なし | | | | | | |
| 担当教員への連絡方法 | 速水智子(はやみずさとこ) hayamizu@aikoku-u.org タイトル、学籍番号、氏名を忘れずに記入しましょう。 | | | | | | |

授業スケジュール

卒業研究演習〔情報科学分野〕

| | | |
|-----|------------------|---|
| 1回 | 学習内容 予習 復習 | <卒業研究とは> 研究の進め方、スケジュール管理 シラバスをあらかじめ読んでおくこと 授業の進め方などについて振り返ること |
| 2回 | 学習内容 予習 復習 | <卒業研究の進め方> 論文作成の基礎(1) 論文作成の基礎知識、問題抽出 進め方の資料を読んでおくこと 授業を振り返ること |
| 3回 | 学習内容 予習 復習 | <卒業研究の進め方> 論文作成の基礎(2) 論文作成の基礎知識、問題抽出 資料を読んでおくこと 振り返ること |
| 4回 | 学習内容 予習 復習 | <卒業研究の進め方> 論文作成の基礎(3) 論文作成の基礎知識、問題抽出 資料を読んでおくこと まとめを作成すること |
| 5回 | 学習内容 予習 復習 | <課題と調査方法> 文献検索及び調査手法、実験計画法 資料を読んでくること 資料をまとめてくる |
| 6回 | 学習内容 予習 復習 | <課題と調査方法> 文献の引用と著作権、オリジナリティ タイトルを考えてくること 調査をしてくる |
| 7回 | 学習内容 予習 復習 | <課題と調査方法> 問題・解決の決定と論証課程確認 中間報告のための調査をおこなうこと 中間報告のための調査をまとめてくる |
| 8回 | 学習内容 予習 復習 | <スケジュールの再検討> 調査の補完 スケジュールの確認 スケジュールをまとめてくる |
| 9回 | 学習内容 予習 復習 | <オリジナリティの検証> 独創性の検証 資料を読んでくること 資料をまとめてくること |
| 10回 | 学習内容 予習 復習 | <オリジナリティの検証> 中間報告のディスカッション 資料を読んでくること 資料をまとめてくること |
| 11回 | 学習内容 予習 復習 | <オリジナリティの検証> 中間報告のディスカッション 中間報告の見直しをしてくる 中間報告の見直しをしてくる |
| 12回 | 学習内容 予習 復習 | <オリジナリティの検証> 中間報告のディスカッション 中間報告をまとめてくる 中間報告をまとめてくる |
| 13回 | 学習内容 予習 復習 | <オリジナリティの検証> 中間報告のディスカッション 中間報告をまとめてくる 中間報告をまとめてくる |
| 14回 | 学習内容 予習 復習 | <中間報告と評価> 中間報告まとめ 中間報告確認作業 中間報告最終確認作業 |
| 15回 | 学習内容 予習 復習 | <中間発表プレゼンテーション> 解決のためのデザインを中心に発表 発表を準備する 報告書まとめ作成 |

授業スケジュール

卒業研究演習[情報科学分野]

| | |
|-----|--|
| 16回 | <p>学習内容 <研究の補完>調査結果の再検討</p> <p>予習 調査結果をまとめる</p> <p>復習 フィードバックへの対応</p> |
| 17回 | <p>学習内容 <スケジュール管理>補完調査などのディスカッション</p> <p>予習 調査結果をまとめる</p> <p>復習 フィードバックへの対応</p> |
| 18回 | <p>学習内容 <スケジュール管理>調査</p> <p>予習 調査結果をまとめる</p> <p>復習 論文内容のまとめを作成すること</p> |
| 19回 | <p>学習内容 <スケジュール管理>調査</p> <p>予習 調査結果をまとめる</p> <p>復習 演習を振り返ること</p> |
| 20回 | <p>学習内容 <中間検討会>ディスカッション</p> <p>予習 資料を作成してくる</p> <p>復習 フィードバックへの対応</p> |
| 21回 | <p>学習内容 <中間検討会>ディスカッション</p> <p>予習 資料を作成してくる</p> <p>復習 フィードバックへの対応</p> |
| 22回 | <p>学習内容 <中間検討会>ディスカッション</p> <p>予習 資料を作成してくる</p> <p>復習 フィードバックへの対応</p> |
| 23回 | <p>学習内容 <中間検討会>考察とディスカッション</p> <p>予習 資料を作成してくる</p> <p>復習 フィードバックへの対応</p> |
| 24回 | <p>学習内容 <論文の作成>論文作成と表記について再点検</p> <p>予習 論文原稿を作成すること</p> <p>復習 フィードバックへの対応</p> |
| 25回 | <p>学習内容 <論文の作成>論文作成</p> <p>予習 論文原稿を作成すること</p> <p>復習 フィードバックへの対応</p> |
| 26回 | <p>学習内容 <論文の作成>論文作成</p> <p>予習 論文原稿を作成すること</p> <p>復習 フィードバックへの対応</p> |
| 27回 | <p>学習内容 <論文の作成>論文作成</p> <p>予習 論文原稿を作成すること</p> <p>復習 フィードバックへの対応</p> |
| 28回 | <p>学習内容 <論文の作成>論文内容の総合評価</p> <p>予習 発表の資料を作成する</p> <p>復習 発表の準備をする</p> |
| 29回 | <p>学習内容 <最終発表準備></p> <p>予習 発表の準備をする</p> <p>復習 発表を振り返る</p> |
| 30回 | <p>学習内容 <発表></p> <p>予習 発表の準備をする</p> <p>復習 授業全体を振り返る</p> |

| | | | | | | | |
|------------------------|--|----------------------|--------------|-----------------------|------------------------|-------------------|-----|
| 科目名 | 卒業研究演習〔情報科学分野〕 | | | | 科目コード | 8024 | |
| 英文名 | Graduation Research Seminar II [Information Science] | | | | 科目区分 | 【卒業研究】 (必修科目) | |
| 担当教員 | 羽田 久久 | | 教員コード | 155 | | 単位数 | 2単位 |
| 開講期間 | 通年 | | 曜日・時限 | 月曜日・3時限 | | 授業形態 | 演習 |
| 学位授与方針との対応 | <input type="radio"/> | 1.大学生としての幅広い教養を身につける | | <input type="radio"/> | 2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する | | |
| | <input checked="" type="radio"/> | 3.論理的・批判的なものの見方を養う | | <input type="radio"/> | 4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する | | |
| | <input type="radio"/> | 5.学習の過程で発見した課題を探索する | | <input type="radio"/> | 6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う | | |
| 授業概要 | 情報科学分野で卒業研究を行う学生を対象とする。日常生活に関連したさまざまな問題や課題について情報技術を利用した問題解決の手法について体系的に扱う。卒論のテーマや題目の探究、解決手法の探究を実践し、卒業論文の作成を行う。自由な発想と創造を尊重し卒業研究を進める。 | | | | | | |
| 授業の狙い・到達目標 | 情報科学分野で扱う範囲で各自が自由に卒論のテーマや題目を設定する。それに沿って問題抽出・分析・情報収集・解決のためのスケジューリング、調査を行い卒業論文を作成する | | | | | | |
| 授業内容のレベル・関連科目 | 卒業研究演習は卒業論文のテーマや題目についての報告と討論を行い授業を進める。毎回それまでの調査結果や進捗状況を報告する。 | | | | | | |
| 授業外学習(予習・復習) | 授業の前後に、論文作成に必須である参考文献を読みこなすこと。また、演習で受けたアドバイス等をもとに、論文の推敲をしていくこと。 | | | | 授業外学習に必要な時間 | 各回4時間、 合計120時間 | |
| 使用教科書 | 教科書は使用しない | | | | | | |
| 参考書・その他教材 | 桑田てるみ『学生のレポート・論文作成トレーニング』改訂版、実教出版 | | | | | | |
| 課題に対するフィードバック | ゼミ形式で個別指導とディスカッションを行い卒業研究を進める | | | | | | |
| 成績評価方法 | 卒論発表会30%、平常点70%(毎回の課題をきちんとこなしてきたか) | | | | | | |
| 成績評価基準 | 学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規定に基づき評価する | | | | | | |
| 履修上の注意事項や学習上の助言 | 引用文献、参考文献は書式にしたがい巻末に記載、図・表は出典を明記する。卒業論文提出期限から逆算し作業日程を作成し、提出期限前に提出できるように心がける。 | | | | | | |
| 科目に関連した教員の実務経験 | 特になし | | | | | | |
| 担当教員への連絡方法 | 授業前後での質問、ならびにメールでも受け付ける。連絡先は第一回の授業で伝える。 | | | | | | |

授業スケジュール

卒業研究演習〔情報科学分野〕

| | | |
|--------------------|---------------------------------------|---|
| 1回 | 学習内容 予習 復習 | 卒業論文作成についてのガイダンス、卒業論文作成要領の説明、日程計画の作成 春休み中に考えた卒業論文のテーマ・題目について発表準備をする 作成した日程表を再度確認し、作成要領を理解する |
| 2・3・4回 | 学習内容 予習 復習 | 複数の大まかなテーマを決める。興味のある課題やテーマを明確にする 人間文化演習で演習したPBL課題を復習し、課題を選びプレゼンの準備をする 興味のあるテーマについて関連文献を読み題目やテーマの内容の把握に努める |
| 5・6・7・8回 | 学習内容 予習 復習 | テーマを決める。関連論文や文献を調査しテーマや題目のしぼり込み作業 先行研究を探索し、卒論テーマの位置づけを確認 卒業論文のテーマが決定した段階で作業日程の見直しを行う。卒論企画書を作成してみる |
| 9・10・11・12回 | 学習内容 予習 復習 | 決定したテーマについて、何をどのように明らかにするのか討論で掘り下げる スケルトンを作成し、作業をモジュール化してみる。卒論企画の再検討と修正 調査項目に従い必要なデータや資料を明らかにし、作業日程に組み入れる |
| 13・14・15回 | 学習内容 予習 復習 | 研究の目的や研究方法を作成し、内容が適正か、研究の遂行上問題がないか検討する 収集した文献や資料について指導教員と内容の確認作業を行う 夏期休暇中の作業の確認と調査収集データの分析、推考し結果に対するいくつかの仮説を立てる |

授業スケジュール

卒業研究演習[情報科学分野]

| | | |
|--|--|---|
| <p>16 ・ 17 ・ 18 ・ 19 回</p> | <p>学習内容 予習 復習</p> | <p>夏期休暇中の調査の進捗状況の確認を行い、補足調査やデータの補完の検討 本文第3章について、調査結果に基づき草稿し、指導教員の指導を受ける 考察を行うに必要なキーとなる調査結果やデータが十分かどうか、指導教員の下で考察を試みる</p> |
| <p>20 ・ 21 ・ 22 ・ 23 回</p> | <p>学習内容 予習 復習</p> | <p>卒論のテーマ・題目に沿って、何を明らかにするか、3章各項を草稿してみる 論文の第1章緒言、第2章研究の目的、第3章研究方法は草稿から完成版に書き換える 第4章の内容について草稿し、2章の研究目的で明らかにする事項が第4章で論証できるか指導 教員の指導を仰ぐ、不十分であれば追加調査を行い補強する。</p> |
| <p>24 ・ 25 ・ 26 回</p> | <p>学習内容 予習 復習</p> | <p>第5章考察について草稿してみる。課題解決の提案や解決のための方策について、その内容が 適切であるか指導を仰ぐ、十分でない時は草稿の内容を修正する 第4章の草稿を完成版に書き換える 引用文献、参考文献、図・表の出典など記述が適当か点検をする</p> |
| <p>27 ・ 28 回</p> | <p>学習内容 予習 復習</p> | <p>要旨、目次を整備し、論文全体を完成させる。 本文が12000字以上かどうか点検する。 卒業論文全体を点検し誤字脱字はないか点検する。2部印刷し学務に提出する</p> |
| <p>29 ・ 30 回</p> | <p>学習内容 予習 復習</p> | <p>卒論発表会に使用するプレゼンスライドを作成する。また発表練習を行う。 発表練習を行い規定時間内に発表が終了するように発表原稿を調整する。 裁定3回発表練習を行い、卒論発表会に備える</p> |

| | | | | | | | |
|-----------------|--|--|--|-------------|-------------------|------|-----|
| 科目名 | 卒業研究演習(情報科学分野) | | | 科目コード | 8024 | | |
| 英文名 | Graduation Research Seminar II [Information Science] | | | 科目区分 | 【卒業研究】 (必修科目) | | |
| 担当教員 | 日坂 彰 | | 教員コード | 137 | | 単位数 | 2単位 |
| 開講期間 | 通年 | | 曜日・時限 | 金曜日・1時限 | | 授業形態 | 演習 |
| 学位授与方針との対応 | <input type="radio"/> 1.大学生としての幅広い教養を身につける | | <input type="radio"/> 2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する | | | | |
| | <input type="radio"/> 3.論理的・批判的なものの見方を養う | | <input type="radio"/> 4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する | | | | |
| | <input checked="" type="radio"/> 5.学習の過程で発見した課題を探求する | | <input type="radio"/> 6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う | | | | |
| 授業概要 | 日常生活に関連したさまざまな問題や課題についてICT(情報通信技術)を利用した問題解決の手法を体系的に学び、卒業研究に展開する。 | | | | | | |
| 授業の狙い・到達目標 | PBL(問題解決型学習)を応用して、課題の探求、解決手法についての理解、ICTの適用と手法の創造、システムの検証、成果の公開を通して、卒業研究を進めていく。自由な発想と創造を尊重する。 | | | | | | |
| 授業内容のレベル・関連科目 | 共通教養科目全般、ビジネス専攻(主専攻)科目、副専攻科目、「人間文化演習」に加えて、本学開講科目のあらゆる科目との関連可能性あり | | | | | | |
| 授業外学習(予習・復習) | 予習は資料を読み、用語を辞典、事典で調べておくこと。 復習は学習内容を定着させ、未理解事項を残さないこと。 各回に特化した予習、復習は授業スケジュールを参照のこと。 | | | 授業外学習に必要な時間 | 各回4時間、 合計120時間 | | |
| 使用教科書 | 桑田てるみ「学生のレポート・論文作成トレーニング 改訂版」実教出版 | | | | | | |
| 参考書・その他教材 | 石井一成「ゼロからわかる大学生のためのレポート・論文の書き方」ナツメ社 | | | | | | |
| 課題に対するフィードバック | 各工程毎に点検し、フィードバックを行う。 | | | | | | |
| 成績評価方法 | 卒業論文発表会30%、平常点70%(毎回の課題をきちんとこなしてきたか) | | | | | | |
| 成績評価基準 | 学習の到達目標にどのくらい到達したかを、本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。 | | | | | | |
| 履修上の注意事項や学習上の助言 | 標準的なスケジュールであり、進捗次第で繰り上げ進行する。 | | | | | | |
| 科目に関連した教員の実務経験 | | | | | | | |
| 担当教員への連絡方法 | 本学 G Suite for Education Gmail:anissaka@aikoku-u.org | | | | | | |

授業スケジュール

卒業研究演習(情報科学分野)

| | | |
|-----|------|--|
| 1回 | 学習内容 | 卒業研究とは — 研究の進め方、研究倫理、スケジュール管理 |
| | 予習 | 人間文化演習の成果をまとめておくこと。 |
| | 復習 | 一年間の計画を立てること。 |
| 2回 | 学習内容 | 論文作成の基礎(1) 論文作成の基礎、問題抽出、PBL |
| | 予習 | 人間文化演習の成果も含めて、自分の関心・興味のある問題や課題を整理しておくこと。 |
| | 復習 | 自分の関心・興味のある問題や課題をまとめること。 |
| 3回 | 学習内容 | 論文作成の基礎(2) アカデミック・ライティング |
| | 予習 | 指定資料を読んでおくこと。 |
| | 復習 | 指定練習問題を解くこと。 |
| 4回 | 学習内容 | 論文作成の基礎(3) テーマ方向性選定とリサーチ・クエスチョンの設定 |
| | 予習 | テーマ(題目)の草案を考えてくること。 |
| | 復習 | 研究目的を明確にすること。 |
| 5回 | 学習内容 | 論文作成の基礎(4) 論文構成考案 |
| | 予習 | 指定資料を読んでおくこと。 |
| | 復習 | 論文構成からストーリー(論理展開)を構築すること。 |
| 6回 | 学習内容 | 先行研究調査(1) 情報検索、文献検索及び文献収集 |
| | 予習 | 指定資料を読んでおくこと。 |
| | 復習 | 指定数以上の文献を収集・管理し、記録する。 |
| 7回 | 学習内容 | 先行研究調査(2) 文献の引用と著作権 |
| | 予習 | 指定資料を読んでおくこと。 |
| | 復習 | 指定数以上の文献を収集・管理し、記録する。 |
| 8回 | 学習内容 | 先行研究調査(3) 先行研究レビュー |
| | 予習 | 収集済み文献を指定数以上読んでおくこと。 |
| | 復習 | 先行研究レビューレポートを作成する。 |
| 9回 | 学習内容 | 先行研究調査(4) アカデミック・リーディング |
| | 予習 | 指定資料を読んでおくこと。 |
| | 復習 | 先行研究レビューレポートを作成する。 |
| 10回 | 学習内容 | テーマ確定と論証過程確認 |
| | 予習 | 指定資料を読んでおくこと。 |
| | 復習 | テーマと論証過程を明確にすること。 |
| 11回 | 学習内容 | 研究方法設計、フィージビリティ検証 |
| | 予習 | 指定資料を読んでおくこと。 |
| | 復習 | 研究方法を明確にすること。 |
| 12回 | 学習内容 | オリジナリティ検証 |
| | 予習 | 指定資料を読んでおくこと。 |
| | 復習 | オリジナリティを明確にすること。 |
| 13回 | 学習内容 | 中間報告ディスカッション |
| | 予習 | それまでの研究内容をレポートとしてまとめる。 |
| | 復習 | 中間報告をまとめる。 |
| 14回 | 学習内容 | 中間報告まとめ |
| | 予習 | 中間報告をまとめる。 |
| | 復習 | 中間報告発表(プレゼンテーションファイル作成を含む)を作成する。 |
| 15回 | 学習内容 | 中間報告発表 |
| | 予習 | 中間報告発表(プレゼンテーションファイル作成を含む)を完成する。 |
| | 復習 | 中間報告発表の振り返り・検証を行う。 |

授業スケジュール

卒業研究演習【情報科学分野】

| | | |
|---------|-------------|------------------------------|
| 16 回 | 学習内容 | 研究方針と論文構成の再確認 |
| | 予習 | 論文執筆(後期開始時点までに3000字目標) |
| | 復習 | 残り期間の計画を立てること。 |
| 17 回 | 学習内容 | 論文作成(1) |
| | 予習 | 論文執筆 |
| | 復習 | フィードバックへの対応 |
| 18 回 | 学習内容 | 論文作成(2) |
| | 予習 | 論文執筆 |
| | 復習 | フィードバックへの対応 |
| 19 回 | 学習内容 | 論文作成(3) |
| | 予習 | 論文執筆(6000字目標) |
| | 復習 | フィードバックへの対応 |
| 20 回 | 学習内容 | 論文作成(4) |
| | 予習 | 論文執筆 |
| | 復習 | フィードバックへの対応 |
| 21 回 | 学習内容 | 論文作成(5) |
| | 予習 | 論文執筆(9000字目標) |
| | 復習 | フィードバックへの対応 |
| 22 回 | 学習内容 | 論文作成(6) |
| | 予習 | 論文執筆 |
| | 復習 | フィードバックへの対応 |
| 23 回 | 学習内容 | 論文作成(7) |
| | 予習 | 論文執筆(12000字目標) |
| | 復習 | フィードバックへの対応 |
| 24 回 | 学習内容 | 論文作成(8) |
| | 予習 | 論文執筆 |
| | 復習 | フィードバックへの対応 |
| 25 回 | 学習内容 | 卒業論文完成、提出準備、形式要件チェック |
| | 予習 | 提出ファイルの購入を済ませ、提出票を作成しておく。 |
| | 復習 | 卒業論文の振り返り・検証を行う。 |
| 26 回 | 学習内容 | 発表方針決定 |
| | 予習 | プレゼンテーションに関する指定資料を読んでおく。 |
| | 復習 | プレゼンテーションファイルの作成を開始する。 |
| 27 回 | 学習内容 | 発表準備(1) |
| | 予習 | プレゼンテーションに関する指定資料を読み理解、反映する。 |
| | 復習 | フィードバックへの対応 |
| 28 回 | 学習内容 | 発表準備(2) |
| | 予習 | プレゼンテーションに関する指定資料を読み理解、反映する。 |
| | 復習 | フィードバックへの対応 |
| 29 回 | 学習内容 | 発表リハーサル |
| | 予習 | 発表リハーサルの準備をする。 |
| | 復習 | フィードバックへの対応 |
| 30 回 | 学習内容 | 卒業論文と発表の総合評価 |
| | 予習 | 発表の準備をする。 |
| | 復習 | 発表の振り返り・検証を行う。 |

| | | | | | | | |
|------------------------|---|----------------------|--------------|----------------------------------|------------------------|------------------|-----|
| 科目名 | 卒業研究演習〔ビジネス経営分野〕 | | | | 科目コード | 8025 | |
| 英文名 | Graduation Research Seminar II 〔Business Administration〕 | | | | 科目区分 | 【卒業研究】 (必修科目) | |
| 担当教員 | 溝田 俊之 | | 教員コード | 156 | | 単位数 | 2単位 |
| 開講期間 | 通年 | 曜日・時限 | 木曜日・2時限 | | 授業形態 | 演習 | |
| 学位授与方針との対応 | <input type="radio"/> | 1.大学生としての幅広い教養を身につける | | <input type="radio"/> | 2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する | | |
| | <input checked="" type="radio"/> | 3.論理的・批判的なものの見方を養う | | <input checked="" type="radio"/> | 4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する | | |
| | <input checked="" type="radio"/> | 5.学習の過程で発見した課題を探究する | | <input checked="" type="radio"/> | 6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う | | |
| 授業概要 | ビジネス経営分野の中からテーマを選び、学生生活の総仕上げとしての論文作成に取り組む。テーマ決定、関連論文収集、データ収集、分析、執筆、指摘に対する見直しを通して論文を完成させる。 | | | | | | |
| 授業の狙い・到達目標 | 卒業論文作成過程を通して、教養を身につけ、論理的な考え方を養い、問題解決能力を涵養する。 | | | | | | |
| 授業内容のレベル・関連科目 | 大学生生活の総仕上げである。 | | | | | | |
| 授業外学習(予習・復習) | 演習では報告の都度指摘をするので、それに基づいた改善をしていく。参考文献の収集、講読や、分析作業は演習に先立って行っておく。 | | | 授業外学習に必要な時間 | 各回4時間、合計120時間 | | |
| 使用教科書 | 特になし。 | | | | | | |
| 参考書・その他教材 | 特にないが、文献はテーマに合わせ検索し、収集する。 | | | | | | |
| 課題に対するフィードバック | 演習では1年間をかけて論文完成までフォローアップするものであり、演習自体がフィードバックである。 | | | | | | |
| 成績評価方法 | 卒業論文発表会30%、平常点70%(毎回の課題をきちんとこなしてきたか) | | | | | | |
| 成績評価基準 | 学習の到達目標にどれくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程に基づき評価する。 | | | | | | |
| 履修上の注意事項や学習上の助言 | 授業外学習をしっかりと行うこと。これができなければ良い論文にはならない。 | | | | | | |
| 科目に関連した教員の実務経験 | 千葉県で農業経営・経済に関する試験研究に従事していた。卒業研究では試験研究に従事した経験から得た視点で、テーマ選定、分析の論理性など全般について指導する。 | | | | | | |
| 担当教員への連絡方法 | 質問はメールでも受け付ける(mail to:mizota@aikoku-u.org)が、論文の内容に関することは対面が望ましい。 | | | | | | |

授業スケジュール

卒業研究演習〔ビジネス経営分野〕

| | | |
|------------|---------------------------------------|---|
| 1回 | 学習内容 予習 復習 | ガイダンス、本演習のスケジュールまた卒業論文作成までのスケジュールを説明する。 シラバスをよく読み、本演習のスケジュールを把握しておく。 本日の授業内容を振り返り、スケジュールを意識する。 |
| 2回 | 学習内容 予習 復習 | テーマの方向性決定 するために、過去の卒論等、参考文献検索を行う 3年次の演習の経過からテーマの方向性を考え、書き出しプレゼンにまとめる。文献入手、講読。 教員からの指摘事項に基づきプレゼンを改善する。 |
| 3回 | 学習内容 予習 復習 | テーマの方向性、調査、分析方法等をプレゼンする 前回講義時に抽出された課題等について調査し、プレゼンにまとめる。 教員からの指摘事項に基づきプレゼンを改善する。 |
| 4回 | 学習内容 予習 復習 | 第3回と同様。 前回講義時に抽出された課題等について調査し、プレゼンにまとめる。 教員からの指摘事項に基づきプレゼンを改善する。 |
| 5回 | 学習内容 予習 復習 | テーマを発展させる。 調査・分析の厚みを増し、報告済みのプレゼンの内容および量を充実させる。 教員からの指摘事項に基づきプレゼンを改善する。 |
| 6回 | 学習内容 予習 復習 | 第5回と同様。 調査・分析の厚みを増し、報告済みのプレゼンの内容および量を充実させる。 教員からの指摘事項に基づきプレゼンを改善する。 |
| 7回 | 学習内容 予習 復習 | 第5回と同様。 調査・分析の厚みを増し、報告済みのプレゼンの内容および量を充実させる。 教員からの指摘事項に基づきプレゼンを改善する。 |
| 8回 | 学習内容 予習 復習 | 第5回と同様。 調査・分析の厚みを増し、報告済みのプレゼンの内容および量を充実させる。 教員からの指摘事項に基づきプレゼンを改善する。 |
| 9回 | 学習内容 予習 復習 | テーマを決定する。 ここまでの調査・分析から、報告済みのプレゼンを更に充実させる。 教員からの指摘事項に基づきプレゼンを改善する。 |
| 10回 | 学習内容 予習 復習 | 第9回と同様。 ここまでの調査・分析から、報告済みのプレゼンを更に充実させる。 教員からの指摘事項に基づきプレゼンを改善する。 |
| 11回 | 学習内容 予習 復習 | 第9回と同様。 ここまでの調査・分析から、報告済みのプレゼンを更に充実させる。 教員からの指摘事項に基づきプレゼンを改善する。 |
| 12回 | 学習内容 予習 復習 | 第9回と同様。 ここまでの調査・分析から、報告済みのプレゼンを更に充実させる。 教員からの指摘事項に基づきプレゼンを改善する。 |
| 13回 | 学習内容 予習 復習 | 論文の構成を考え、書き、示す。導入部分(目的、研究の対象と方法)を考え、書く。 教員の指示の下、卒論の構成と導入部分を考え、書く。 講義中に教員から指導されたことを踏まえ、論文を修正する。 |
| 14回 | 学習内容 予習 復習 | 第13回と同様。 教員の指示の下、卒論の構成と導入部分を考え、書く。 講義中に教員から指導されたことを踏まえ、論文を修正する。 |
| 15回 | 学習内容 予習 復習 | 第13回と同様。 教員の指示の下、卒論の構成と導入部分を考え、書く。 講義中に教員から指導されたことを踏まえ、論文を修正する。 |

授業スケジュール

卒業研究演習〔ビジネス経営分野〕

| | | |
|---------|---------------------------------------|--|
| 16 回 | 学習内容 予習 復習 | 導入部分に続き、分析結果に入る。 夏季休暇中に論文内容を1,500字程度(A4標準で1.2程度)まで書き上げる。 講義中に教員から指導されたことを踏まえ、論文を修正する。 |
| 17 回 | 学習内容 予習 復習 | 第16回に同じ。分析結果の提示に必要な図表を作成する。 3,000字(A4標準で2.5枚程度)を目標に書き進めていく。 講義中に教員から指導されたことを踏まえ、論文を修正する。 |
| 18 回 | 学習内容 予習 復習 | 第16回に同じ。分析結果の提示に必要な図表を作成する。 3,000字(A4標準で2.5枚程度)を目標に書き進めていく。 講義中に教員から指導されたことを踏まえ、論文を修正する。 |
| 19 回 | 学習内容 予習 復習 | 第16回に同じ。分析結果の提示に必要な図表を作成する。 3,000字(A4標準で2.5枚程度)を目標に書き進めていく。 講義中に教員から指導されたことを踏まえ、論文を修正する。 |
| 20 回 | 学習内容 予習 復習 | 論文の本論を執筆する。目標を6,000字(A4標準で5枚程度)とする。 図表、文章含め6,000字(A4標準5枚程度)を目標に書き進めていく。 講義中に教員から指導されたことを踏まえ、論文を修正する。 |
| 21 回 | 学習内容 予習 復習 | 第20回に同じ。論文の本論を執筆する。目標を6,000字(A4標準で5枚程度)とする。 図表、文章含め6,000字(A4標準5枚程度)を目標に書き進めていく。 講義中に教員から指導されたことを踏まえ、論文を修正する。 |
| 22 回 | 学習内容 予習 復習 | 第20回に同じ。論文の本論を執筆する。目標を6,000字(A4標準で5枚程度)とする。 図表、文章含め6,000字(A4標準5枚程度)を目標に書き進めていく。 講義中に教員から指導されたことを踏まえ、論文を修正する。 |
| 23 回 | 学習内容 予習 復習 | 第20回に同じ。論文の本論を執筆する。目標を6,000字(A4標準で5枚程度)とする。 図表、文章含め6,000字(A4標準5枚程度)を目標に書き進めていく。 講義中に教員から指導されたことを踏まえ、論文を修正する。 |
| 24 回 | 学習内容 予習 復習 | 論文の本論を執筆する。9,000字(A4標準7.5枚程度)を目標とする。 図表、文章含め9,000字(A4標準7.5枚程度)を目標とする。 講義中に教員から指導されたことを踏まえ、論文を修正する。 |
| 25 回 | 学習内容 予習 復習 | 第24回に同じ。 図表、文章含め9,000字(A4標準7.5枚程度)を目標とする。 講義中に教員から指導されたことを踏まえ、論文を修正する。 |
| 26 回 | 学習内容 予習 復習 | 第24回に同じ。 図表、文章含め9,000字(A4標準7.5枚程度)を目標とする。 講義中に教員から指導されたことを踏まえ、論文を修正する。 |
| 27 回 | 学習内容 予習 復習 | 考察およびまとめを書き、論文を完成させる。 12,000字(A4標準10枚程度)以上という卒論の要請にこたえとともに、論文を完成させていく。 講義中に教員から指導されたことを踏まえ、論文を修正する。 |
| 28 回 | 学習内容 予習 復習 | 第27回に同じ。 12,000字(A4標準10枚程度)以上という卒論の要請にこたえとともに、論文を完成させていく。 講義中に教員から指導されたことを踏まえ、論文を修正する。 |
| 29 回 | 学習内容 予習 復習 | 卒論発表会に向けて①、プレゼンの作成と練習。 卒論発表会のためのプレゼンを作ってくる。 演習内での質疑、指摘、指導に基づき必要な修正を行う。 |
| 30 回 | 学習内容 予習 復習 | 卒論発表会に向けて②、プレゼンの作成と練習。 卒論発表会のためのプレゼンを作ってくる。 演習内での質疑、指摘、指導に基づき必要な修正を行う。 |

| | | | | | | | |
|-----------------|--|--|--|---------|-------------|------------------|-----|
| 科目名 | 卒業研究演習〔ビジネス経営分野〕 | | | | 科目コード | 8025 | |
| 英文名 | Graduation Research Seminar II 〔Business Administration〕 | | | | 科目区分 | 【卒業研究】 (必修科目) | |
| 担当教員 | 呉 蔭 | | 教員コード | 157 | | 単位数 | 2単位 |
| 開講期間 | 通年 | | 曜日・時限 | 火曜日・5時限 | | 授業形態 | 演習 |
| 学位授与方針との対応 | <input type="radio"/> 1.大学生としての幅広い教養を身につける | | <input type="radio"/> 2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する | | | | |
| | <input checked="" type="radio"/> 3.論理的・批判的なものの見方を養う | | <input checked="" type="radio"/> 4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する | | | | |
| | <input checked="" type="radio"/> 5.学習の過程で発見した課題を探求する | | <input type="radio"/> 6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う | | | | |
| 授業概要 | 前年度の人間文化演習を踏まえ、自分が関心を持っているテーマで卒業論文を作成し、発表する。 | | | | | | |
| 授業の狙い・到達目標 | 卒業研究演習を通じて、履修生自身が関心を持っているテーマに対して、課題の発見、検証(実態調査)、結果の検討・考察というプロセスを踏まえ、自らの考えを論理的に述べることを目的とする。 | | | | | | |
| 授業内容のレベル・関連科目 | 論理的な文章の書き方を習得する。関連科目:人間文化演習に限らない。 | | | | | | |
| 授業外学習(予習・復習) | 卒業論文の完成を目指して、毎回の演習での指導内容を踏まえて、内容を着実に更新していく。 | | | | 授業外学習に必要な時間 | 各回4時間、合計120時間 | |
| 使用教科書 | 特になし。 | | | | | | |
| 参考書・その他教材 | 研究テーマによって、自ら参考文献・資料を探さなければならない。 | | | | | | |
| 課題に対するフィードバック | 毎回の授業で、研究テーマ、内容、進め方に対して、履修生の自主性を重視しながら、建設的な意見を提示する。 | | | | | | |
| 成績評価方法 | 卒業論文発表会30%、平常点70%(毎回の課題をきちんとこなしてきたか) | | | | | | |
| 成績評価基準 | 卒業論文の完成度、卒論発表の状況及び普段の取り組みなどを踏まえ、本学の「学業成績判定に関する規定の基準」に基づき、到達度を総合的に評価する。 | | | | | | |
| 履修上の注意事項や学習上の助言 | 計画通りに主体的に取り組む。 | | | | | | |
| 科目に関連した教員の業務経験 | 特になし | | | | | | |
| 担当教員への連絡方法 | 質問や相談など、メール(wu@aikoku-u.org)あるいは対面に対応する。メールの場合、件名に科目名・曜日・時限、本文に学生番号・氏名を必ず記載する。対面の場合、授業終了後あるいはオフィスアワー(新年度に掲示)に対応する。 | | | | | | |

授業スケジュール

卒業研究演習〔ビジネス経営分野〕

| | | |
|-----|------------------|---|
| 1回 | 学習内容 予習 復習 | ガイダンス(スケジュール、達成目標、進め方などを説明する。)、テーマ報告(1名5分) シラバスを事前に確認し、関心のあるテーマを1人当たり5分間で説明できるように準備する。 テーマに対するコメントを確認し、年間計画(どのように進めるか)を立ててみる。 |
| 2回 | 学習内容 予習 復習 | 関心のあるテーマに関する課題の提示(1)、順番に報告 関心のあるテーマにどのような課題があるか、それについてレジュメを作成する。 指導教員からのコメントを踏まえ、関連情報・知識を取得し、課題検討をさらに深めていく。 |
| 3回 | 学習内容 予習 復習 | 関心のあるテーマに関する課題の提示(2)、順番に報告 関心のあるテーマにどのような課題があるか、それについてレジュメを作成する。 指導教員からのコメントを踏まえ、関連情報・知識を取得し、課題検討をさらに深めていく。 |
| 4回 | 学習内容 予習 復習 | 先行研究に関する報告(1) 研究テーマに含まれた課題は先行研究ではどのように述べられたか。調べて報告できるように。 先行研究と指導教員からのコメントを踏まえて、自分の問題意識を醸成する。 |
| 5回 | 学習内容 予習 復習 | 先行研究に関する報告(2) 研究テーマに含まれた課題は先行研究ではどのように述べられたか。調べて報告できるように。 先行研究と指導教員からのコメントを踏まえて、自分の問題意識を醸成する。□ |
| 6回 | 学習内容 予習 復習 | 研究テーマとその進め方に関する報告(1) 研究テーマをどのように明かにするか、を考えて、報告できるようにレジュメを作成する。 指導教員からのコメントと自身の考えを踏まえ、課題解明の方法を探る。 |
| 7回 | 学習内容 予習 復習 | 研究テーマとその進め方に関する報告(2) 研究テーマをどのように明かにするか、を考えて、報告できるようにレジュメを作成する。 指導教員からのコメントと自身の考えを踏まえ、課題解明の方法を探る。 |
| 8回 | 学習内容 予習 復習 | 課題の調べ方に関する報告(1)～研究対象の明確化 自分が提示した課題をどのように明かにするかというシナリオを踏まえ、その調べ方を述べる。 指導教員のコメントと自身の考えを踏まえ、どこで何を調べて、何かを明かにするか、を決める。 |
| 9回 | 学習内容 予習 復習 | 課題の調べ方に関する報告(2)～研究対象の明確化□ 自分が提示した課題をどのように明かにするかというシナリオを踏まえ、その調べ方を述べる。 指導教員のコメントと自身の考えを踏まえ、どこで何を調べて、何かを明かにするか、を決める。 |
| 10回 | 学習内容 予習 復習 | 文献調査、アンケート調査、ヒアリング調査に向けた準備(1) 調べる項目の整理、質問項目の作成などを進めて、報告できるように準備する。 指導教員からのコメントと自身の考えを踏まえ、調べる項目、質問項目などを改善する。 |
| 11回 | 学習内容 予習 復習 | 文献調査、アンケート調査、ヒアリング調査に向けた準備(2) 調べる項目の整理、質問項目の作成などを進めて、報告できるように準備する。 指導教員からのコメントと自身の考えを踏まえ、調べる項目、質問項目などを改善する。 |
| 12回 | 学習内容 予習 復習 | 文献調査、アンケート調査、ヒアリング調査の実施計画/結果に関する報告(1) 実施可能性を踏まえ、実施計画を見直す。あるいは実行して、その結果を報告する。 指導教員からのコメントと自身の考えを踏まえ、調査を実行する。(進捗の個人差を尊重する。) |
| 13回 | 学習内容 予習 復習 | 文献調査、アンケート調査、ヒアリング調査の実施計画/結果に関する報告(2) 実施可能性を踏まえ、実施計画を見直す。あるいは実行して、その結果を報告する。 指導教員からのコメントと自身の考えを踏まえ、調査を実行する。(進捗の個人差を尊重する。) |
| 14回 | 学習内容 予習 復習 | 調査結果に関する報告 調査した結果を整理して、報告できるようにレジュメや報告書を作成する。 指導教員からのコメントと自身の考えを踏まえ、その結果に基づいて論文の構成を考えてみる。 |
| 15回 | 学習内容 予習 復習 | 論文の構成に関する報告 論文の構成を報告できるように、これまでのプロセスを踏まえて内容を整理する。 指導教員からのコメントと自身の考えを踏まえ、論文の構成を見直し、本文を書き始める。 |

授業スケジュール

卒業研究演習〔ビジネス経営分野〕

| | | |
|---------|---------------------------------------|---|
| 16 回 | 学習内容 予習 復習 | 夏休み期間中の進捗の報告(1)(書き終えた部分を提出する。電子版可。) 夏休み期間中も卒業論文の作成を計画的に進める。補足調査も実施する(指導教員と相談)。 指導教員からのコメントと自身の考えを踏まえ、見直ししながら、先に進める。 |
| 17 回 | 学習内容 予習 復習 | 夏休み期間中の進捗の報告(2)(書き終えた部分を提出する。電子版可。) <input type="checkbox"/> 夏休み期間中も卒業論文の作成を計画的に進める。補足調査も実施する(指導教員と相談)。 <input type="checkbox"/> 指導教員からのコメントと自身の考えを踏まえ、見直ししながら、先に進める。 |
| 18 回 | 学習内容 予習 復習 | 卒業論文の共通問題点に関する説明(参考文献、引用文献、注など) 前回のコメントを踏まえ、卒業論文を書き進める。 第18回の指導教員からの説明、コメントを踏まえて、卒業論文の要注意箇所を改善していく。 |
| 19 回 | 学習内容 予習 復習 | 論文全体の1/4まで書き進め、その進捗を報告する。 論旨が明確かどうか、チェックしながら、論文全体の1/4まで書き進めるように専念する。 指導教員からのコメントと自身の考えを踏まえ、卒業論文を修正する。 |
| 20 回 | 学習内容 予習 復習 | 履修生の間で相互チェックを行い、意見を出し合う。 論文全体の1/3まで書き進め、履修生の間で相互チェックできるように準備する。 履修生らからのコメント、指導教員の総合的判断と自身の考えを踏まえ、卒業論文を修正する。 |
| 21 回 | 学習内容 予習 復習 | 論文全体の1/2まで書き進め、その進捗を報告する。 論文全体の1/2まで書き進めることに専念し、進捗の報告ができるように準備する。 指導教員からのコメントと自身の考えを踏まえ、卒業論文を修正する。 |
| 22 回 | 学習内容 予習 復習 | 論文全体の2/3まで書き進め、その進捗を報告する。 論文全体の2/3まで書き進めることに専念し、進捗の報告ができるように準備する。 指導教員からのコメントと自身の考えを踏まえ、卒業論文を修正する。 |
| 23 回 | 学習内容 予習 復習 | 論文全体の3/4まで書き進め、その進捗を報告する。 論文全体の4/4まで書き進めることに専念し、進捗の報告ができるように準備する。 指導教員からのコメントと自身の考えを踏まえ、卒業論文を修正する。 <input type="checkbox"/> |
| 24 回 | 学習内容 予習 復習 | 結論の部分を検討し、論文初稿の完成(12,000字以上)を目指す。 結論の部分についてよく検討し、それについて報告できるように準備する。 指導教員からのコメントと自身の考えを踏まえ、結論の部分を修正し、初稿の完成を目指す。 |
| 25 回 | 学習内容 予習 復習 | 論文初稿の修正 自ら頑張って修正し、修正した部分を報告する。 指導教員からのコメントと自身の考えを踏まえ、論文全体を修正する。 |
| 26 回 | 学習内容 予習 復習 | 卒業論文のミニ発表(1) 卒業論文の内容をMicrosoft PowerPointでプレゼンテーションできるように、準備を進める。 指導教員と履修生らからのコメント並びに自分の考えを踏まえ、スライドを修正する。 |
| 27 回 | 学習内容 予習 復習 | 卒業論文のミニ発表(2) <input type="checkbox"/> プレゼンテーションの内容を改善するように取り組む。 <input type="checkbox"/> 指導教員と履修生らからのコメント並びに自分の考えを踏まえ、スライドを修正する。 |
| 28 回 | 学習内容 予習 復習 | 卒業論文のミニ発表(3)(場合によって、他大学の教員を招聘する可能性もある。) <input type="checkbox"/> プレゼンテーションの内容をさらに改善するように取り組む。 <input type="checkbox"/> 指導教員と履修生らからのコメント並びに自分の考えを踏まえ、スライドを修正する。 <input type="checkbox"/> |
| 29 回 | 学習内容 予習 復習 | 卒業論文のミニ発表(4)(場合によって、他大学の教員を招聘する可能性もある。) <input type="checkbox"/> プレゼンテーションの内容をより明確に分かりやすく表現するように取り組む。 指導教員と履修生らからのコメント並びに自分の考えを踏まえ、スライドを修正する。 |
| 30 回 | 学習内容 予習 復習 | 総括 総合的なコメント、卒業論文本体とプレゼンテーションの内容の最終チェック 卒業論文を分かりやすく説明できるように着実に準備を進める。 指導教員と履修生らからのコメント並びに自分の考えを踏まえ、論文本体とスライドを修正する。 |

| | | | | | |
|------------------------|--|----------------------|--------------------------|------------------------|-------------------|
| 科目名 | 卒業研究演習(国際協力分野) | | | 科目コード | 8026 |
| 英文名 | Graduation Research Seminar II [International Cooperation] | | | 科目区分 | 【卒業研究】 (必修科目) |
| 担当教員 | 伏見 親子 | | 教員コード | 121 | 単位数 2単位 |
| 開講期間 | 通年 | 曜日・時限 | 水曜日・5時限 | | 授業形態 演習 |
| 学位授与方針との対応 | <input type="checkbox"/> | 1.大学生としての幅広い教養を身につける | <input type="checkbox"/> | 2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する | |
| | <input type="checkbox"/> | 3.論理的・批判的なものの見方を養う | <input type="checkbox"/> | 4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する | |
| | <input checked="" type="checkbox"/> | 5.学習の過程で発見した課題を探求する | <input type="checkbox"/> | 6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う | |
| 授業概要 | 指導分野の中からテーマを選び、学生生活の総仕上げとしての論文に取り組む。テーマ決定から資料収集、アウトラインの作成、執筆、見直し、仕上げという過程を経て、論文を仕上げ、発表する。 | | | | |
| 授業の狙い・到達目標 | 卒業論文作成の一連の過程を通して、論理的な思考の展開ができるようになることを目標とする。また、その結果を整理しまとめ、聴衆に説明できるようになることを目指す。 | | | | |
| 授業内容のレベル・関連科目 | 3年次までの国際協力分野の専門科目(特に必修科目)と人間文化演習を受講し、基礎的、および専門的な知識を得ていること | | | | |
| 授業外学習(予習・復習) | 参考文献を授業の前に読んでおくこと 与えられた課題をこなしておくこと | | | 授業外学習に必要な時間 | 各回4時間、 合計120時間 |
| 使用教科書 | 特に用いない。 | | | | |
| 参考書・その他教材 | 教員によるプリントなどの配付資料、および教員が提示する参考文献・図書 | | | | |
| 課題に対するフィードバック | 卒業論文の章ごとに、受講者によるピア・リーディングと教員による講評を行う。 | | | | |
| 成績評価方法 | 卒業論文発表会30%、平常点70%(毎回の課題をきちんとこなしてきたか) | | | | |
| 成績評価基準 | 学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。 | | | | |
| 履修上の注意事項や学習上の助言 | 指示された参考文献を授業の前に読んでおくこと 各自、章ごとに発表内容をまとめておくこと 常に自分の研究テーマと内容をチェックして、ずれがないか確認しておくこと 後半、パソコンを使用するので、USBメモリを持参すること | | | | |
| 科目に関連した教員の実務経験 | 特になし | | | | |
| 担当教員への連絡方法 | 質問は、原則的に教員の@aikoku-u.orgアドレスへのメール、または教員の指示した連絡方法で受け付ける。件名に科目名、曜日・時限、本文に学籍番号、氏名を必ず記載すること | | | | |

授業スケジュール

卒業研究演習(国際協力分野)

| | | |
|---|---------------------------------------|---|
| 1回 | 学習内容 予習 復習 | 論文を書く心構え、論文作成のおおまかな手順を説明する。 人間文化演習の資料を復習しておくこと 卒業論文の作成に関する資料をよく読んでおくこと |
| 2回 | 学習内容 予習 復習 | 論文の書式、参考文献の扱い、注の付け方など、基本的な論文作成方法を教授する。 人間文化演習の資料を復習しておくこと 各自人間文化演習のレポートを持参 配付されたサンプルを読んで理解しておくこと |
| 3回 | 学習内容 予習 復習 | 学生は各自関心のあるテーマを発表し、教員はそれが卒業論文として妥当であるか、チェックする。 各自人間文化演習のレポートをもとに、研究テーマを決めておくこと 教員のアドバイスを受け、必要場合は研究テーマの修正案を考えること |
| 4回 5回 | 学習内容 予習 復習 | 参考文献や資料から論文として成立するかどうか検討し、テーマの変更を含めて見直す作業をする。 自分の研究テーマに必要な参考文献などを読んで、授業に持参すること 教員のアドバイスを受け、必要場合は研究テーマの再修正案を考えること |
| 6回 7回 8回 | 学習内容 予習 復習 | 学生は論文の構成を考え、論文の骨旨・章立てを発表する。(1回に2名ずつ)ピア・リーディング有 発表担当者は、論文の構成・章立て(目次)をA41ページ程度にまとめ、授業人数分用意すること ピア・リーディングを受け、自分の構成・章立てを修正すること |
| 9回 10回 11回 12回 13回 | 学習内容 予習 復習 | 論文作成に取り掛かる。イントロダクション、第1章の発表(1回に1名) 教員講評、ピア・リーディング有 発表担当者は、イントロダクション、第1章を作成し、授業人数分コピーを用意すること 教員の講評、ピア・リーディングを受け、自分の原稿を修正すること |
| 14回 15回 | 学習内容 予習 復習 | 第2章の発表(1回に1名) 教員講評、ピア・リーディング有 発表担当者は、第2章を作成し、授業人数分コピーを用意すること 教員の講評、ピア・リーディングを受け、自分の原稿を修正すること |

授業スケジュール

卒業研究演習〔国際協力分野〕

| | | |
|---|--|---|
| <p>16 ・ 17 ・ 18 回</p> | <p>学習内容 ・ 予習 ・ 復習</p> | <p>第2章の発表(1回に1名) 教員講評、ピア・リーディング有 発表担当者は、第2章を作成し、授業人数分コピーを用意すること 教員の講評、ピア・リーディングを受け、自分の原稿を修正すること</p> |
| <p>19 ・ 20 ・ 21 ・ 22 ・ 23 回</p> | <p>学習内容 ・ 予習 ・ 復習</p> | <p>第3章及び結論の発表(1回に1名) 教員講評、ピア・リーディング有 発表担当者は、第3章及び結論を作成し、授業人数分コピーを用意すること 教員の講評、ピア・リーディングを受け、自分の原稿を修正すること</p> |
| <p>24 ・ 25 回</p> | <p>学習内容 ・ 予習 ・ 復習</p> | <p>論文の見直し。最初のテーマとのずれなどを確認し、手直ししていく。 自分の原稿を通して読んで、テーマと内容にずれがないか確認しておくこと。 ずれがあった場合、全体を眺めて統一を図るよう手直しをすること</p> |
| <p>26 ・ 27 回</p> | <p>学習内容 ・ 予習 ・ 復習</p> | <p>要旨、参考文献の作成、卒業論文の仕上げ 要旨、参考文献をつけ、インデント、フォントなどが、途中で変わっていないか確かめること 教員の指導に従って、修正すること</p> |
| <p>28 回</p> | <p>学習内容 予習 復習</p> | <p>卒業論文の訂正 提出した論文は図書館に収められ、後輩の参考になるので、誤字脱字を含めて丁寧に確認すること 教員の指摘があれば直すこと</p> |
| <p>29 ・ 30 回</p> | <p>学習内容 ・ 予習 ・ 復習</p> | <p>卒業論文発表会の準備 パワーポイント原稿作成と口頭発表の練習 5分間に収める必要があるので、要点をピックアップしておくこと 一度スライドを作成したら、声に出して読んでみて時間内に終わるか確認すること</p> |

| | | | | | | | |
|-----------------|--|----------------------|---------|------------------------|-------------|------------------|--|
| 科目名 | 卒業研究演習(国際協力分野) | | | | 科目コード | 8026 | |
| 英文名 | Graduation Research Seminar II [International Cooperation] | | | | 科目区分 | 【卒業研究】 (必修科目) | |
| 担当教員 | 梶原 健嗣 | | 教員コード | 145 | 単位数 | 2単位 | |
| 開講期間 | 通年 | 曜日・時限 | 月曜日・2時限 | | 授業形態 | 演習 | |
| 学位授与方針との対応 | ○ | 1.大学生としての幅広い教養を身につける | ○ | 2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する | | | |
| | ◎ | 3.論理的・批判的なものの見方を養う | ◎ | 4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する | | | |
| | ◎ | 5.学習の過程で発見した課題を探究する | ○ | 6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う | | | |
| 授業概要 | 前年度の人間文化演習を一步進めた学習により、卒業論文作成のための指導を行う。 | | | | | | |
| 授業の狙い・到達目標 | 卒業論文は、大学生活の集大成である。自分が関心をもったテーマに対し、問題の所在、重要性を示し、事実に即して自らの見解を論理的に主張・展開することが求められる。ひとりよがりにならず、客観的な分析を行うことが重要である。教員の指導の下に、二人三脚でこの目標に到達することを目指す。 | | | | | | |
| 授業内容のレベル・関連科目 | 授業のレベルは、前述したように「大学生活の集大成」である。関連科目は特に明示しないが、国際情報ビジネスコースの必修科目が「課題の発見・探求」に役だったはずである。 | | | | | | |
| 授業外学習(予習・復習) | 卒業論文の完成に向けて、丁寧に毎回の演習を積み重ねていく。パズルのピースを埋め合わせていくように、1つずつ課題を提示していくので、それを着実にこなすこと。また、教員の指導を受けた修正をきちんと積み重ねていくこと。 | | | | 授業外学習に必要な時間 | 各回4時間、合計120時間 | |
| 使用教科書 | 特になし。 | | | | | | |
| 参考書・その他教材 | 特になし。講義のなかで指示する課題をこなすための参考書・資料を自ら発見することが、ゼミ学習の基本である。 | | | | | | |
| 課題に対するフィードバック | 卒業研究演習では、卒業論文の作成に向けて1年計画で課題を出していく。毎回の授業は、そのフォローアップである。 | | | | | | |
| 成績評価方法 | 卒業論文発表会30% 平常点70%(毎回の課題をきちんとこなしてきたか) | | | | | | |
| 成績評価基準 | 授業の狙いあげた学習到達目標にどのくらい到達したかを、本学の「学業成績判定に関する規程の基準」に基づき評価する。 | | | | | | |
| 履修上の注意事項や学習上の助言 | 復習をきちんとすること。特に、教員が演習中に指示した課題をしっかりとこなすこと。そうすれば、おのずと卒業論文はできあがるはずである。 | | | | | | |
| 科目に関連した教員の実務経験 | 特になし。 | | | | | | |
| 担当教員への連絡方法 | メールでの質問(kajiwara@aikoku-u.org)、またはオフィスアワー(新年度に掲示)。もちろん授業終了後に、直接聞くことも可。 | | | | | | |

授業スケジュール

卒業研究演習(国際協力分野)

| | | |
|-------------|------------------|--|
| 1回 | 学習内容 予習 復習 | ガイダンス、本演習のスケジュールまた卒業論文作成までのスケジュールを説明する。 シラバスをよく読み、本演習のスケジュールを把握しておくこと。 講義を踏まえて、シラバスを改めて読み返し、本演習のスケジュールを頭に叩き込む。 |
| 2・3・4回 | 学習内容 予習 復習 | テーマを決める【基礎編】 そのために、3年次に引き続き、複数の課題発表を続ける。 教員が前回講義時に指定した課題で調べものをして、プレゼンにまとめる。 (ゼミ前日の日曜日までに、修正した論文をメールで送ること) 演習内で教員から指導されたことを踏まえ、予習時に作成したプレゼンを修正する。 |
| 5・6・7・8回 | 学習内容 予習 復習 | テーマを決める【発展編】 3年次から本年第4回までに行ったプレゼンを再度行う。 背景知識を深め、何が問題か、一番不思議に思うことは何か、明確にしていく。 研究の「問い」を作りこんでいくために、プレゼン形式の基礎調査を続ける。 この時、プレゼンテーマそのものから、自分で設定する。 (ゼミ前日の日曜日までに、修正した論文をメールで送ること) 演習内で教員から指導されたことを踏まえ、予習時に作成したプレゼンを修正する。 |
| 9・10・11・12回 | 学習内容 予習 復習 | テーマを決める【完成編】 第5回～8回で行ったプレゼンをもとに、テーマを決定していく。 文章化すれば、論文の序章となる程度の内容でプレゼンを仕上げる。 1度報告済みのテーマのプレゼンを、時間・内容面でバージョンアップさせる。 過去の発表・報告を振り返ることで、卒業論文のテーマを絞り込んでいく。 内容上、発展が見込めるものを発見していく。 演習内で教員から指導されたことを踏まえ、予習時に作成したプレゼンを修正する。 |
| 13・14・15回 | 学習内容 予習 復習 | 論文の構成と序章を考え、書く。 前期までに800字を超えることが目標。 教員の指示の下、卒論の構成と序章を考え、書く。 添削を受け、論文をブラッシュアップしていく。 演習内で教員から指導されたことを踏まえ、論文を修正する。 夏季休暇中に、論文内容を1,500字程度まで書き上げる。 |

授業スケジュール

卒業研究演習〔国際協力分野〕

| | | |
|--|--------------------------------------|---|
| 16 ・ 17 ・ 18 ・ 19 回 | 学習内容 予習 復習 | <p>論文の本論に入る。 秋初頭までに、3,000字を目標とする。 そのためにも、夏季休暇中にきちんと課題に取り組んでおくことが重要となる。</p> <p>3,000字を目標に書き進めていく。 そのための材料を集める。</p> <p>演習内で教員から指導されたことを踏まえ、論文を修正する。 (ゼミ前日の日曜日までに、修正した論文をメールで送ること)</p> |
| 20 ・ 21 ・ 22 ・ 23 回 | 学習内容 予習 復習 | <p>論文の本論に入る。 秋中盤までに、6,000字を目標とする。</p> <p>6,000字を目標に書き進めていく。 そのための材料を集める。</p> <p>演習内で教員から指導されたことを踏まえ、論文を修正する。 (ゼミ前日の日曜日までに、修正した論文をメールで送ること)</p> |
| 24 ・ 25 ・ 26 回 | 学習内容 予習 復習 | <p>まとめを記し、論文を完成させる。 (参考資料の表記や注釈など、細かい点もきちんと見直す)</p> <p>12,000字以上という卒論の要請にこたえとともに、論文を完成させていく。 (ゼミ前日の日曜日までに、修正した論文をメールで送ること)</p> <p>演習内で教員から指導されたことを踏まえ、論文を修正する。 内容だけでなく、形式も整えていくこと。</p> |
| 27 ・ 28 ・ 29 ・ 30 回 | 学習内容 予習 復習 | <p>卒論発表会に向けて、プレゼンの作成と練習を行う。 練習を繰り返すことで、卒論の内容をわかりやすく伝えるには、どうすればいいかを考える。この試行錯誤が、自分の完成させた論文を見つめ直すことにもつながっていく。</p> <p>卒論発表会のためのプレゼンを作ってくる。 演習のなかで、発表会本番を模した練習を行う。そこで指摘されたことをふまえ、プレゼンを訂正する。この時、声に出して読んでみる練習も同時並行することが望ましい。</p> <p>演習内で指摘された事項を、修正すること。 自宅で、実際に話して練習すること。</p> |

| | | | | | | | |
|------------------------|---|--|--------------|---------|--|-------------------|-----|
| 科目名 | 卒業研究演習(国際協力分野) | | | | 科目コード | 8026 | |
| 英文名 | Graduation Research Seminar II [International Cooperation] | | | | 科目区分 | 【卒業研究】 (必修科目) | |
| 担当教員 | 栗林 慶 | | 教員コード | 158 | | 単位数 | 2単位 |
| 開講期間 | 通年 | | 曜日・時限 | 月曜日・2時限 | | 授業形態 | 演習 |
| 学位授与方針との対応 | <input type="radio"/> 1.大学生としての幅広い教養を身につける | | | | 2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する | | |
| | <input checked="" type="radio"/> 3.論理的・批判的なものの見方を養う | | | | <input type="radio"/> 4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する | | |
| | <input type="radio"/> 5.学習の過程で発見した課題を探索する | | | | <input type="radio"/> 6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う | | |
| 授業概要 | 卒業論文の執筆に関する指導とディスカッションを行う。 前期は論文執筆に必要な学術的スキルの確認をしながら、研究の具体化に向けた指導をする。 後期は執筆指導と研究発表に向けた準備を行う。 | | | | | | |
| 授業の狙い・到達目標 | 大学での学びの集大成として、自らの興味関心に基づき、自分なりの問いを立て、理論的もしくは実証的に検証する能力を身につけることが本科目のねらいである。 研究成果を論文としてまとめ、研究発表を適切に完遂できるようになることを到達目標とする。 | | | | | | |
| 授業内容のレベル・関連科目 | 特に定めない。 | | | | | | |
| 授業外学習(予習・復習) | 教員の助言・指導に従って授業外学習をする。 進捗報告を必須とする。 | | | | 授業外学習に必要な時間 | 各回4時間、 合計120時間 | |
| 使用教科書 | なし。 | | | | | | |
| 参考書・その他教材 | 各自の進行に応じて案内する。 | | | | | | |
| 課題に対するフィードバック | 随時、口頭やメールなどにより、修正点などのフィードバックを行う。 | | | | | | |
| 成績評価方法 | 卒業論文発表会30%、平常点70%(毎回の課題をきちんとこなしてきたか) | | | | | | |
| 成績評価基準 | 本学の学業成績判定に関する規程の基準により、評価する。 | | | | | | |
| 履修上の注意事項や学習上の助言 | 研究に関する内容のみではなく、パソコンスキルの習得やスケジュール管理といった点についても相談可能。 | | | | | | |
| 科目に関連した教員の実務経験 | なし。 | | | | | | |
| 担当教員への連絡方法 | 質問、連絡等はメールにて受け付ける。(kei@aikoku-u.ac.jp) 教員は必ず返信をするので、もし返信がない場合は各自、連絡方法を再確認すること。 | | | | | | |

授業スケジュール

卒業研究演習(国際協力分野)

| | | |
|--|---------------------------------------|---|
| 1回 | 学習内容 予習 復習 | ガイダンス 卒業研究に使用する機材とソフト、教員との連絡方法、研究の進め方の確認 研究に必要なソフトウェア(ワープロ、表計算、プレゼンテーション、PDFの閲覧)を確認しておく。 不足するパソコンスキルやソフトウェアを確認し、対処が難しければ教員に相談をする。 |
| 2回 | 学習内容 予習 復習 | 研究テーマの選び方、資料収集の案内、執筆演習 どのような研究テーマを扱いたいのか、案を考える。参考になりそうな資料を用意する。 演習で執筆したものに指導内容を反映させ、提出する。研究テーマを再考し、資料を収集する。 |
| 3回 | 学習内容 予習 復習 | 研究テーマ選び(その1)、資料収集、執筆演習 前回と同様に予習をする。 前回と同様に復習をする。 |
| 4回 | 学習内容 予習 復習 | 研究テーマ選び(その2)、資料収集、執筆演習 前回と同様に予習をする。 前回と同様に復習をする。 |
| 5回 | 学習内容 予習 復習 | 研究テーマ選び(その3)、資料収集、執筆演習 前回と同様に予習をする。 前回と同様に復習をする。 |
| 6回 | 学習内容 予習 復習 | 研究テーマ選び(その4)、資料収集、執筆演習 前回と同様に予習をする。 前回と同様に復習をする。 |
| 7回 | 学習内容 予習 復習 | 卒業論文の構想(その1)、資料収集、執筆演習 これまでのディスカッションと資料収集をふまえて、卒業論文の構想を考える。 演習で執筆したものを修正し、提出する。卒業論文の構想については、指摘箇所を修正する。 |
| 8回 | 学習内容 予習 復習 | 卒業論文の構想(その2)、資料収集、執筆演習 前回と同様に予習をする。 前回と同様に復習をする。 |
| 9回 | 学習内容 予習 復習 | 卒業論文の構想(その3)、資料収集、執筆演習 前回と同様に予習をする。 前回と同様に復習をする。 |
| 10回 | 学習内容 予習 復習 | 研究計画の再スケジュール、卒業論文の執筆指導 卒論に必要な資料収集やデータ収集を考慮したスケジュールを考えておく。 執筆した卒業論文を、指示に従って修正する。 |
| 11回 ・ 12回 ・ 13回 | 学習内容 予習 復習 | 卒業論文の執筆指導 調査研究を進め、卒業論文を執筆する。 前回と同様に復習をする。 |
| 14回 | 学習内容 予習 復習 | 中間報告 これまでの研究成果の口頭発表 調査研究を進め、卒業論文を執筆する。口頭発表の準備をする。 前回と同様に復習をする。 |
| 15回 | 学習内容 予習 復習 | 夏期休業中の研究計画の確認 夏期休業中の研究計画を具体的に想定する。 前回と同様に復習をする。 |

授業スケジュール

卒業研究演習〔国際協力分野〕

| | | |
|---|---------------------------------------|---|
| 16 回 | 学習内容 予習 復習 | 夏期休業中の進捗報告 調査研究を進め、卒業論文を執筆する。夏期休業中の研究の進捗報告の準備をする。 執筆した卒業論文を、指示に従って修正する。 |
| 17 ・ 18 ・ 19 ・ 20 ・ 21 回 | 学習内容 予習 復習 | 卒業論文の執筆指導 調査研究を進め、卒業論文を執筆する。 執筆した卒業論文を、指示に従って修正する。 |
| 22 ・ 23 回 | 学習内容 予習 復習 | 卒業論文の体裁調整 卒業論文の執筆要綱を再確認し、本文の不備を再点検しておく。 執筆した卒業論文を、指示に従って修正する。 |
| 24 ・ 25 回 | 学習内容 予習 復習 | 卒業論文の体裁調整、最終稿の作成 卒業論文の執筆要綱を再確認し、本文の不備を再点検しておく。 執筆した卒業論文を、指示に従って修正する。 |
| 26 回 | 学習内容 予習 復習 | 卒論発表会の準備(その1) スライドの構成を考える 卒論発表会で用いるスライドの構成を考える。 添削の内容を反映させる。 |
| 27 回 | 学習内容 予習 復習 | 卒論発表会の準備(その2) スライドの添削 卒論発表会で用いるスライドを、おおむね作成する。 添削の内容を反映させる。冬季休業中の作業内容を確認する。 |
| 28 回 | 学習内容 予習 復習 | 卒論発表会の準備(その3) スライドの最終添削 卒論発表会で用いるスライドを完成させる。 最終添削の内容を反映させる。 |
| 29 回 | 学習内容 予習 復習 | 卒論発表会の準備(その4) 発表の予行練習 効果的なプレゼンテーション技法について検討する。 授業で指摘された箇所を修正する。 |
| 30 回 | 学習内容 予習 復習 | 卒論発表会の準備(その5) 発表の予行練習 プレゼンテーションの時間をあらかじめ計測する。 授業で指摘された箇所を修正する。 |